

国際標準の実装を通じた貿易分野のデータ連携を促進する取組

国際標準規格への取組

成果報告書

2024年2月16日

一般社団法人サプライチェーン情報基盤研究会

本成果報告書は、貿易プラットフォームによるデータ連携を行うため、金流商流物流の情報接点となる L/C 等貿易決済（トレードファイナンス）に関わる情報モデル（TFFRDM: Trade Finance Facilitation Reference Data Model）を国連 CEFACT の新プロジェクトとして提案し、2023 年度中に実施した国際標準規格への取組の成果について取りまとめたものである。これは、2022 年度に実施されたトレードファイナンス・タスクフォースのマッピング作業により顕在化した貿易実業務と国際標準の差異を解消するための国連 CEFACT 標準規格への変更申請を実現化するための取組である。

本報告書は以下の成果報告と付属書で構成される。

- I. 国連 CEFACT プロジェクトの体制と進捗状況
- II. TFFRDM プロジェクト提案
- III. Documentary Credit 業務要件仕様提案
- IV. TFFRDM 情報モデル
- V. 今後の標準化活動計画

[＜参考＞国連 CEFACT とその標準](#)

<付属書 1 > 信用状業務要件仕様ドラフト

(BRS: Trade Finance Documentary Credit Process)

<付属書 2 > INVOICE メッセージ改訂版

目次

I. 国連 CEFACT プロジェクトの体制と進捗状況.....	3
1. 2022 年度貿易デジタル化調査事業概要.....	3
2. 国連 CEFACT 貿易金融データ交換プロジェクト	4
3. 国連 CEFACT プロジェクトにおける活動	5
3.1 貿易金融デジタル化における提言	5
3.2 信用状業務要件仕様の提案.....	7
3.2.1 目的及び範囲	7
3.2.2 業務要件定義	8
3.2.3 情報モデル.....	15
3.3 国連 CEFACT プロジェクト推進体制の提言	15
3.4 我が国貿易商社の情報項目追加提案.....	17
3.5 国連 CEFACT プロジェクト会議における貢献	20
II. TFFRDM プロジェクト提案.....	22
III. Documentary Credit 業務要件仕様提案.....	29
IV. TFFRDM 情報モデル提案.....	35
V. 今後の標準化活動計画	47
<参考：国連 CEFACT とその標準>	52

付属書 1：信用状業務要件仕様ドラフト

付属書 2：INVOICE メッセージ改訂版

I. 国連 CEFACT プロジェクトの体制と進捗状況

2022 年度貿易デジタル化調査事業の成果を踏まえ、2023 年当初に国連 CEFACT より提案された貿易金融データ交換プロジェクトに参加し、国連 CEFACT フォーラム及び新たに開始されたプロジェクト定例会議の場においてプロジェクト体制の確立を提言するとともに、我が国の貿易商社とデジタル貿易プラットフォームの要望を国連 CEFACT 標準に組み込むための活動を行った。

1. 2022 年度貿易デジタル化調査事業概要

2022 年度事業「令和 4 年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業（貿易分野デジタル化連携ツールの検討に係る貿易文書の国際標準データ項目等マッピング業務）」では、貿易金融におけるプロセスと情報の流れを確認し、その中で使われている帳票の電子化についての標準化状況を分析、実業務における電子化状況につき調査を行った（図-1.1）。

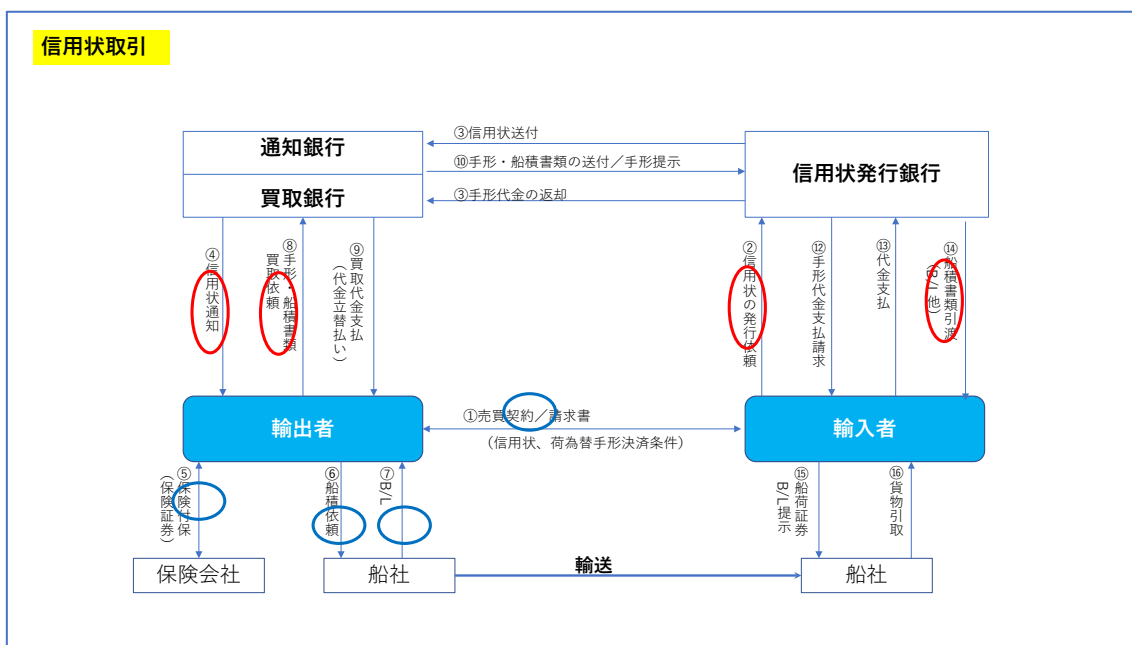


図-1.1 貿易金融における帳票の流れ

調査は、7 商社、3 銀行、及び 2 つのプラットフォームのご協力により、調査対象の「信用状 (LC)」「購買契約 (PO)」「船荷証券 (BL)」「船積依頼 (SI)」「請求書 (IV)」との「梱包明細 (PL)」「原産地証明 (CO)」「荷為替手形 (DX)」「保険証券 (IP)」に関する帳票イメージ、入力イメージ、帳票設計書、データ項目表を収集し、LC, PO, BL, IV, PL について実施した。

それらの調査に基づき、PO、IV、BL の帳票につき、国連 CEFACT 標準との突合調

査（マッピング）を行った。また、LCについては国連 CEFACT 標準メッセージが未整備のため、SWIFT（国際銀行間通信協会）標準メッセージとのマッピングを行った。

2022 年度の調査結果では、現在の国連 CEFACT 標準では日本の商社等で実際に使われている帳票の一部の情報項目がカバーされていないことが判明し、貿易帳票の電子化に支障をきたす恐れがあることを認識した。

2. 国連 CEFACT 貿易金融データ交換プロジェクト

2023 年度は、前年度の調査事業の結果に基づき、国連 CEFACT で未整備の金流（LC 等）の電子化標準の整備、及び商流・物流に関わる貿易帳票の電子化標準の改定を目的に、国連 CEFACT に日本からの新たなプロジェクト提案の検討を始めようとしていた。ところが、日本における新提案の検討中、折しも 2023 年 2 月、国連 CEFACT の議長（Sue Probert）及び運輸／ロジスティックス担当副議長（Hanane Becha）が、貿易金融データ交換プロジェクト（Buy/Ship/Pay Data Exchange structures for Trade Finance Facilitation）提案を発表した。

発表された国連 CEFACT 提案は、国際商業会議所（ICC）で進められている主要貿易文書及びデータの標準化（ICC DSI Key Trade Documents & Data Elements Standards Analysis and Recommendations: 2023 年 1 月）に同調したもので、次の文書を対象としている。

- ・ 信用状通知書（Documentary Credit Advice）
- ・ 非特惠原産地証明（Non-Preferential Certificate of Origin）
- ・ 海貨損害保険証（Maritime Cargo Insurance Certificate）
- ・ 倉庫証券（Warehouse Receipt）
- ・ 業界横断インボイス（Cross Industry Invoice）
- ・ 船荷証券（Negotiable Maritime Bill of Lading）
- ・ 輸出パッキングリスト（Export packing List）

当該国連 CEFACT プロジェクトの対象範囲は、我が国で検討していた標準化範囲を包含し、且つ今後検討が必要と思われる原産地証明や海上貨物保険も範疇としており、我が国にとって申し分のないプロジェクトと認識した。本プロジェクトは、日本、スペイン、ロシアの 3 カ国支持により正式に発足した。プロジェクトの遂行予定期間は 2023 年 5 月～2024 年 12 月である。

以上により、我が国における 2023 年度の「国際標準の実装を通じた貿易分野のデータ連携を促進する取組：国際標準規格への取組」事業は、国連 CEFACT「貿易金融データ交換プロジェクト」に積極的に参加し、2022 年度にまとめた我が国の要望事項がある部分（信用状、インボイスなど）についてはプロジェクトをリードして行くこととした。また、貨物損害保険など 2024 年度にまたがるものについては、次年度事業範囲とすることが望まれる。

3. 国連 CEFACT プロジェクトにおける活動

2023 年度における国連 CEFACT 貿易金融データ交換プロジェクトにおける主な活動は次の通り。

- ・ 貿易金融デジタル化における提言
- ・ 信用状業務要件仕様の提案
- ・ 国連 CEFACT プロジェクト推進体制の提言
- ・ 我が国貿易商社の情報項目追加提案
- ・ 国連 CEFACT プロジェクト会議における貢献

2023 年度の作業は以下のスケジュールで実施された。

	2023-2Q	2023-3Q	2023-4Q	2024-1Q
イベント	△国連CEFACTフォーラム(5/8-5/12)		△国連CEFACTフォーラム(10/2-10/6) △国連CEFACT総会 (11/9-11/10) △AFAC総会 (12/1-12/2)	
プロジェクト 国際会議			11/30：プロジェクト体制審議 (欠席) 12/14：TFF RDM BRS提案 12/28：INVOICEデータ追加提案	1/11：INVOICEデータ追加確認 1/25：RDM/MSG公開レビュー提案 2/8, 2/25, 3/7, 3/21 予定
定例会議		7/14：Forum報告 9/4：進捗報告 9/22：Forum提案検証	10/18：Forum報告 11/21：総会/進捗報告 12/26：進捗報告	1/29：CCL追加要求検証 2/16：成果報告書
プロジェクト 推進計画	国連CEFACTへ日本の業務要件 提案			
		信用状 (DC) BRS案 (プロセス モデル/情報モデル) の策定	国連CEFACTチームによるBRS 審議=>BRS改訂 (RDMBRS+ 文書BRS)	国連CEFACTチームによる BRS評価=>BRSチーム案確 定=>公開レビュー申請
				
			DC/IV/PO情報項目追加要求と国連CEFACTチームによる評価	

3.1 貿易金融デジタル化における提言

2023 年 5 月 8 日-12 日、ジュネーブの国連欧州本部にて国連 CEFACT フォーラムが開催された。当フォーラムの準備段階で、運輸/ロジスティクスグループ及び金融/支払グループのリーダーと打合せを行い、それぞれのセッションにおいて、国連 CEFACT 「貿易金融データ交換プロジェクト」に対する我が国の考え方及び要望事項を発表し、審議を行う場を確保した。

我が国からの発表内容の骨子は次の通り（「[II. TFFRDM プロジェクト提案](#)」参照）。

- 要望事項の目的は、国連 CEFACT 「貿易金融データ交換プロジェクト」を支援し、国連 CEFACT 標準データモデルに基づき国境を越えた貿易のためのデータパイプライン構築の標準を整備する。特に、商流・物流・金流のデータ項目意味情報の相互運用性に焦点をあてる。
- 既存の国連 CEFACT 標準を使って、我が国において机上実証を行ったが、商流・物流・金流のデータ項目間の整合性に課題があり、また実業務に不足するデータ項が散見された。

- 我が国における机上実証結果を基に、商流・物流・金流のデータ項目整備を進めるために、既存の売買・輸送・支払参照モデル（BSPRDM: Buy-Ship-Pay Reference Data Model）の一部として貿易金融参照モデル（TFFRDM: Trade Finance Facilitation Reference Data Model）を追加定義することを提案した。新たなTFFRDMは、信用状（Documentary Credit）プロセス及び海上貨物保険（Maritime Cargo Insurance Certificate）プロセスのメッセージ類のデータモデルをカバーする。
（注）売買・輸送・支払参照モデルは国連 CEFACT の WEB サイトを参照。
→(https://unece.org/fileadmin/DAM/cefact/brs/BuyShipPay_BRS_v1.0.pdf)
- TFFRDM は、対象となる貿易取引（商流）のデータモデルについては既存のサプライチェーン参照データモデル（SCRDM: Supply Chain Reference Data Model）を継承し、運輸／ロジスティックス部分は既存の複合一貫輸送参照データモデル（MMT: Multi Modal Transport Reference Data Model）を継承することで、商流・物流・金流間のデータモデルの相互運用性を確保する。
（注）サプライチェーン参照データモデルは国連 CEFACT の WEB サイトを参照。
→ (https://unece.org/fileadmin/DAM/uncifact/BRS/BRS_SCRDM_v1.0.0.2.pdf)
（注）複合一貫輸送参照データモデルは国連 CEFACT の WEB サイトを参照。
→(https://unece.org/fileadmin/DAM/cefact/brs/BRS_T_L-MMT.zip)
- わが国からの国連 CEFACT「貿易金融データ交換プロジェクト」への要求事項一覧は以下の通り。
 - ・ このプロジェクトを欧州地域のみならず、世界中に適用できるようにすること。
 - ・ プロジェクトの範囲を売買契約から決済、支払いまでの貿易取引プロセス全体に拡大すること。
 - ・ BSPRDM の下の参照データモデルを見直し、改訂された参照データモデル（RDM）フレームワーク仕様を策定すること。
 - ・ 信用状と保険証券を含む貿易金融参照データモデルを構築すること。
 - ・ 下記の文書を含む国境を越えた取引文書をサポートする共通辞書（CCL: Core Component Library）及び関連する業務要件仕様（BRS: Business Requirement Specification）とメッセージ標準を開発または保守管理すること。
 - ◇ 売買契約（Sales Contract）
 - ◇ インボイス（Invoice）
 - ◇ 船荷証券（Bill of Lading）
 - ◇ 原産地証明（Certificate of Origin）
 - ◇ 信用状（Documentary Credit）
 - ◇ パッキングリスト（Packing List）
 - ◇ 倉庫証券（Warehouse Receipt）
 - ◇ 貨物保険証（Cargo Insurance Certificate）

- ・ 貿易金融における電子メッセージを規定するにあたっては ISO TC68 (ISO20022 チーム) と協力して推進すること。

(注) 国連 CEFACT の共通辞書、業務要件仕様、メッセージ標準については、[<参考>国連 CEFACT とその標準](#)の「3. 国連 CEFACT 技術仕様」を参照。

以上の要望発表につき異論はなく受けいれられ、プロジェクト体制についての意見交換を行った。また、金融／支払グループセッションにおいて、次のステップとして日本チームが信用状プロセス (Documentary Credit Process) の業務要件仕様 (BRS) ドラフトを準備することを請け負った。

なお、本フォーラムの運輸／ロジスティックグループセッション中に、株式会社トレードワルツの染谷悟氏及び東京海上日動火災保険株式会社の新谷哲之介氏が次の発表を行い、我が国からの要望事項をバックアップしていただいた。

- ・ Problems encountered when matching data items handled by trade practitioners with UN/CEFACT : 染谷悟氏
- ・ Standardization on Cargo Insurance Data : 新谷哲之介氏

3.2 信用状業務要件仕様の提案

2022 年度における信用状のマッピング作業結果をもとに、国連 CEFACT 業務要件仕様 (BRS) 様式に則って信用状業務要件仕様 (Documentary Credit BRS) ドラフトを策定した (付属書 1 信用状業務要件仕様ドラフト)。

3.2.1 目的及び範囲

➤ 目的

信用状業務要件仕様 (Documentary Credit BRS) の目的は、貿易金融、サプライチェーン、輸送および物流の業界で使用される信用書類取扱ビジネスプロセスおよび情報項目を標準化すること。ビジネスプロセスは、取引先、輸送および物流関係者、金融機関がそれぞれの役割を果たし、ビジネス関係を確立し、それぞれの情報システムのサポートと効率的に対話するために責任を共有する方法を詳細に記述した。各ビジネストランザクション (取引) は、ビジネス文書 (メッセージとも呼ばれる) の交換によって実現される。これらの文書が使用される順序は、本 BRS 内でユース ケースとして示される。ビジネス文書は情報項目 (ビジネス情報エンティティ (BIE: Business Information Entity) と呼ばれる) で構成されており、BIE は再利用可能なビジネス情報エンティティのライブラリ (CCL: 国連 CEFACT 共通辞書) から取得されることが好ましい。ビジネス文書の内容とビジネス情報エンティティは、本 BRS ではクラス図や要件リストを使用して表現される。

➤ 範囲

信用状 (Documentary Credit) は、輸出者が当該信用状に従って船積書類を提示することを条件に、輸入者の銀行が輸入者に代わって代金を支払うことを約束する保証文書である。Documentary Credit プロセスは、輸入者の Documentary Credit 発行申請から始まり、輸出者の決済手続きまでをカバーする。本 BRS は、輸入者の Documentary Credit 発行の申請、銀行による Documentary Credit の発行、輸出者への Documentary Credit の通知、Documentary Credit の変更、輸出者による決済プロセスに至るすべてをカバーする。SWIFT (Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication: 銀行など金融機関を結ぶ情報通信サービスの運営を担う国際団体) 標準などの銀行業界標準に準拠した信用状発行手順と情報モデルの詳細については説明していない。なお、最終プロセスである輸出者の決済手続きの詳細については今回の BRS では取り上げられていないため、次期バージョンに期待する。

3.2.2 業務要件定義

➤ 業務領域

図-3.2.1 に Documentary Credit プロセスの範囲を示すユースケース全体図を示す。

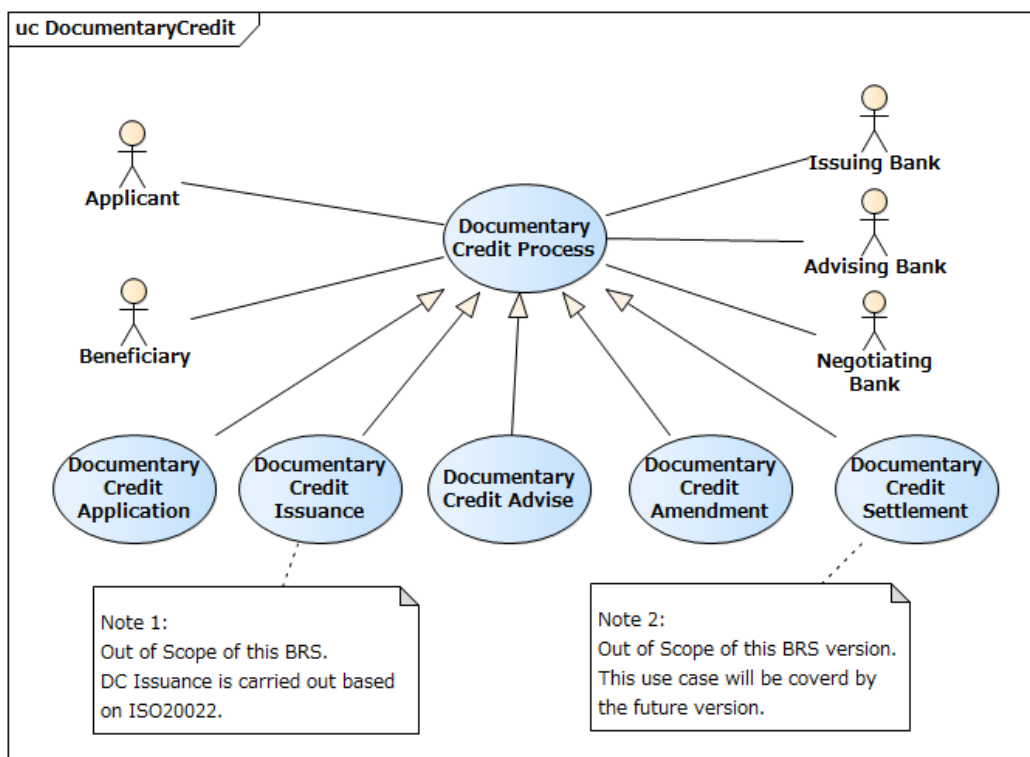


図-3.2.1 Documentary Credit ユースケース全体図

・ 関係当事者 (Actor) の説明

Actor 関係当事者	Applicant 発行依頼人 (輸入者)	The applicant trade party for this documentary credit process. この信用状プロセスにおける信用状発行依頼人。通常は輸入者。
	Beneficiary 受益者 (輸出者)	The beneficially trade party for this documentary credit process. この信用状プロセスにおける受益者。通常は輸出者。
	Issuing Bank L/C発行銀行	The financial institution that services the applicant of this documentary credit. The service includes issuing documentary credit. この信用状の申請者にサービスを提供する金融機関。このサービスには、信用状の発行が含まれる。
	Advising Bank (通知銀行)	The financial institution that advises the intended beneficiary of this documentary credit. この信用状の対象となる受益者に通知する金融機関。
	Negotiating Bank (買取銀行)	The financial institution that purchases bill of exchange after confirming that the documents match the conditions of the documentary credit. 必要な書類が信用状の条件に適合していることを確認した上で、荷為替手形を購入する金融機関。

・ ユースケース (Use Case) の説明

ユースケース (Use Case) は業務やシステムの振る舞いや機能を記述するためのモデリング要素の一つ。ユースケースは、業務やシステムが関係当事者 (Actor) や他の業務やシステムとどのように対話し、機能するかを捉えるために使用する。

Use Case ユース ケース	Documentary Credit Application (信用状の発行依頼)	Upon receiving an importer's request for the documentary credit issuance, the bank will examine it and notify the applicant whether or not to issue it. 申請者 (輸入者) からの信用状発行の要請を受け取った銀行は、それを審査し、信用状を発行するかどうかを申請者に通知する。
	Documentary Credit Issuance (信用状の発行)	At the applicant's request, the issuing bank issues the documentary credit and forwards it to the advising bank. 申請者の要求に応じて、発行銀行は信用状を発行し、それを通知銀行に転送する。
	Documentary Credit Advise (信用状の通知)	The advising bank that receives the documentary credit will notify the Beneficiary. 信用上を受け取った通知銀行は受益者 (輸出者) に通知する。
	Documentary Credit Amendment (信用状の修正)	At the applicant's amendment request for the issued documentary Credit, the issuing bank issues the amended documentary credit and forwards it to the advising bank. 発行された信用状に対する申請者の修正要求に応じて、発行銀行は修正された信用状を発行し、それを通知銀行に転送する。
	Documentary Credit Settlement (信用状に基づく決済)	<p>1. Based on the purchase request attached with the shipping documents stipulated in the documentary credit, the Negotiating Bank will make payment in the form of bill of exchange, etc. 買取銀行は、信用状に定められた船積書類を添付した購入依頼書に基づき、荷為替手形等の形で支払いを行う。</p> <p>2. Based on the documentary credit with shipping documents sent via the Negotiating Bank, the Issuing Bank invoices the Applicant for payment. 買取銀行経由で送付された船積書類を含む信用状に基づいて、発行銀行は申請者に支払いを請求する。</p> <p>3. The Applicant will make payment and receive the necessary shipping documents to pick up the cargo as requested by the Issuing Bank. 申請者は、発行銀行の要求に応じて支払いを行い、貨物の引き取りに必要な船積書類を受け取る。</p>

➤ ユースケース注釈

- ・ 信用状の発行は、銀行業界が定める標準（SWIFT 標準）に基づき、発行銀行と通知銀行間で行われる。本 BRS では SWIFT 標準が定める銀行間の信用状発行手順と情報モデルの詳細については説明していない。
- ・ 信用状の決済は、業務分析がまだ不十分であり、本バージョンの BRS では対象外である。信用状決済に関わる業務プロセス及び情報モデルは、次期バージョンに追加されることを期待する。

➤ 業務関連図

ユースケース関連図を図-3.2.2 に示す。

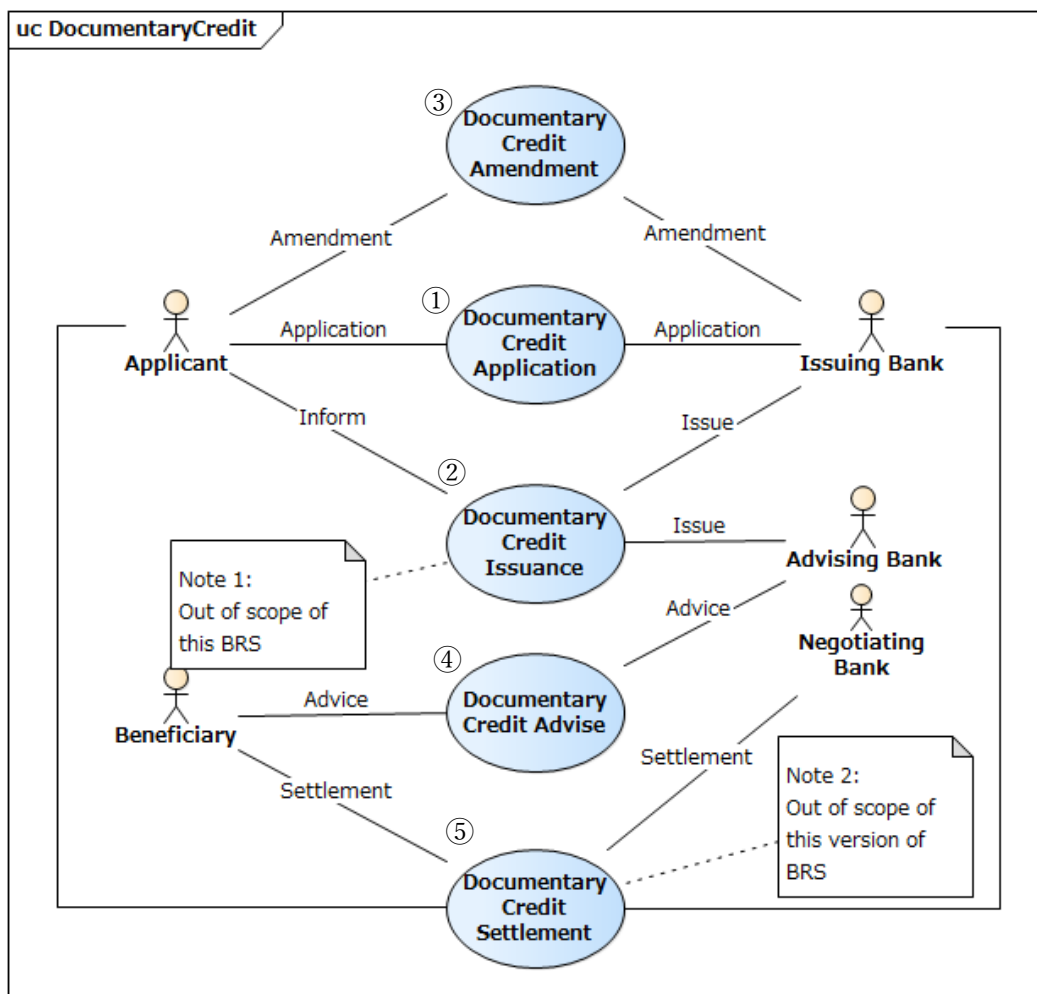


図-3.2.2 Documentary Credit ユースケース関連図

- ① 信用状の発行依頼：申請者（輸入者）からの信用状発行の要請を受け取った銀行は、それを審査し、信用状を発行するかどうかを申請者に通知する。
- ② 信用状の発行：申請者の要求に応じて、発行銀行は信用状を発行し、それを通知銀行に転送する。
- ③ 信用状の修正：発行された信用状に対する申請者の修正要求に応じて、発行銀行は修正された信用状を発行し、それを通知銀行に転送する。
- ④ 信用状の通知：信用状を受け取った通知銀行は受益者（輸出者）に通知する。
- ⑤ 信用状に基づく決済：買取銀行は、信用状に定められた船積書類を添付した購入依頼書に基づき、荷為替手形等の形で支払いを行う。買取銀行経由で送付された船積書類を含む信用状に基づいて、発行銀行は申請者に支払いを請求する。申請者は、発行銀行の要求に応じて支払いを行い、貨物の引き取りに必要な船積書類を受け取る。

➤ 業務プロセス

- ・ 信用状申請プロセスを図-3.2.3 に示す。

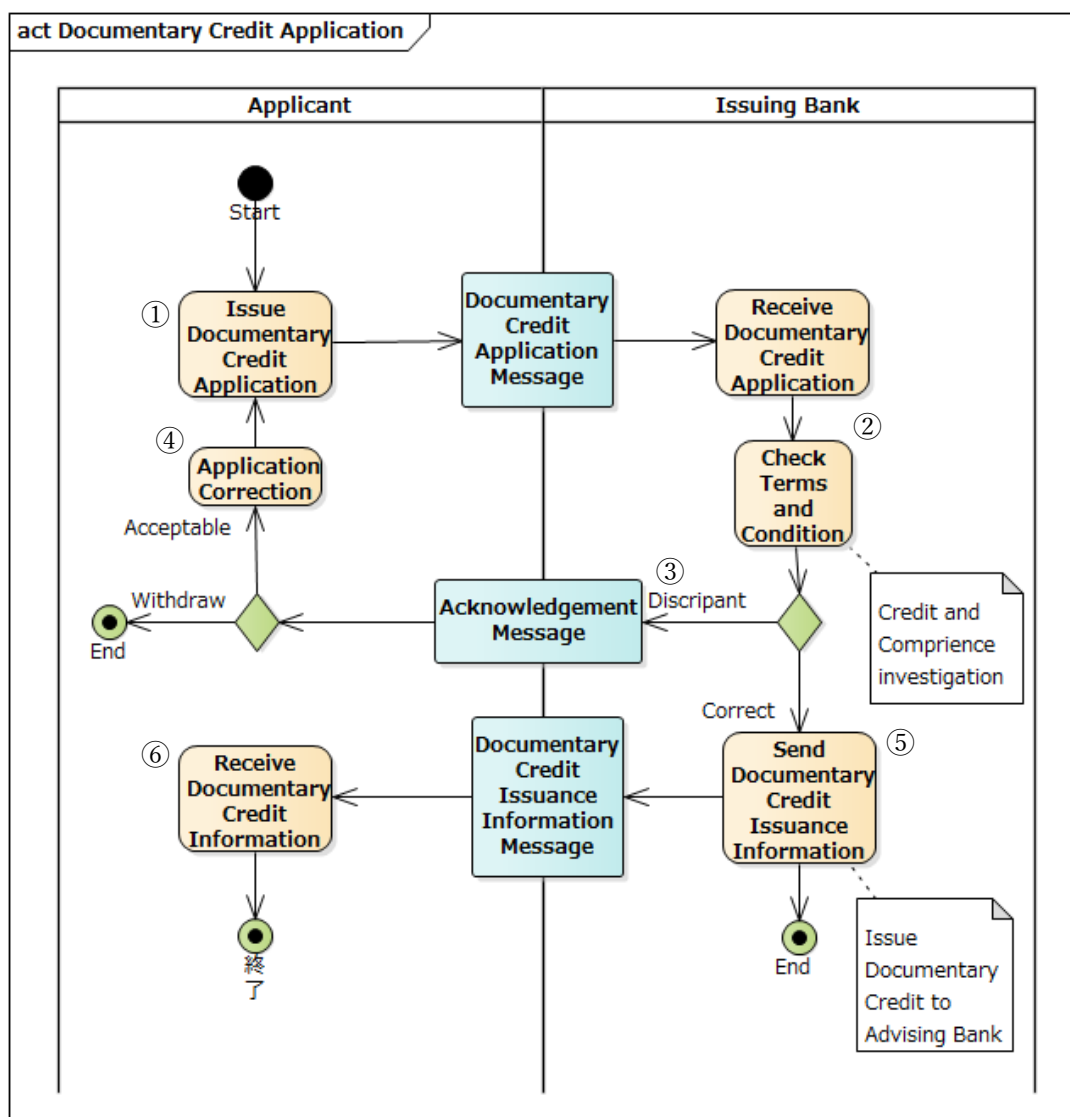


図-3.2.3 信用状申請プロセス

- ① 信用状の発行依頼人は、発行依頼内容を信用状発行銀行に送付する。
- ② 信用状発行銀行は発行依頼内容の条件を審査する。発行依頼人の信用状況及びコンプライアンスの調査も行う。
- ③ 発行依頼に問題があれば、その旨を発行依頼人に通知する。
- ④ 問題通知を受けた発行依頼人は、問題箇所を修正して再度発行依頼を行う。問題箇所の修正に対応できなければ発行申請を撤回する。
- ⑤ 発行銀行は発行依頼内容に問題がなければ通知銀行に対して信用状を発行するとともに信用状情報を発行依頼人に通知する。
- ⑥ 発行依頼人は発行銀行より信用状情報を受領する。

- 信用状通知プロセスを図-3.2.4 に示す。

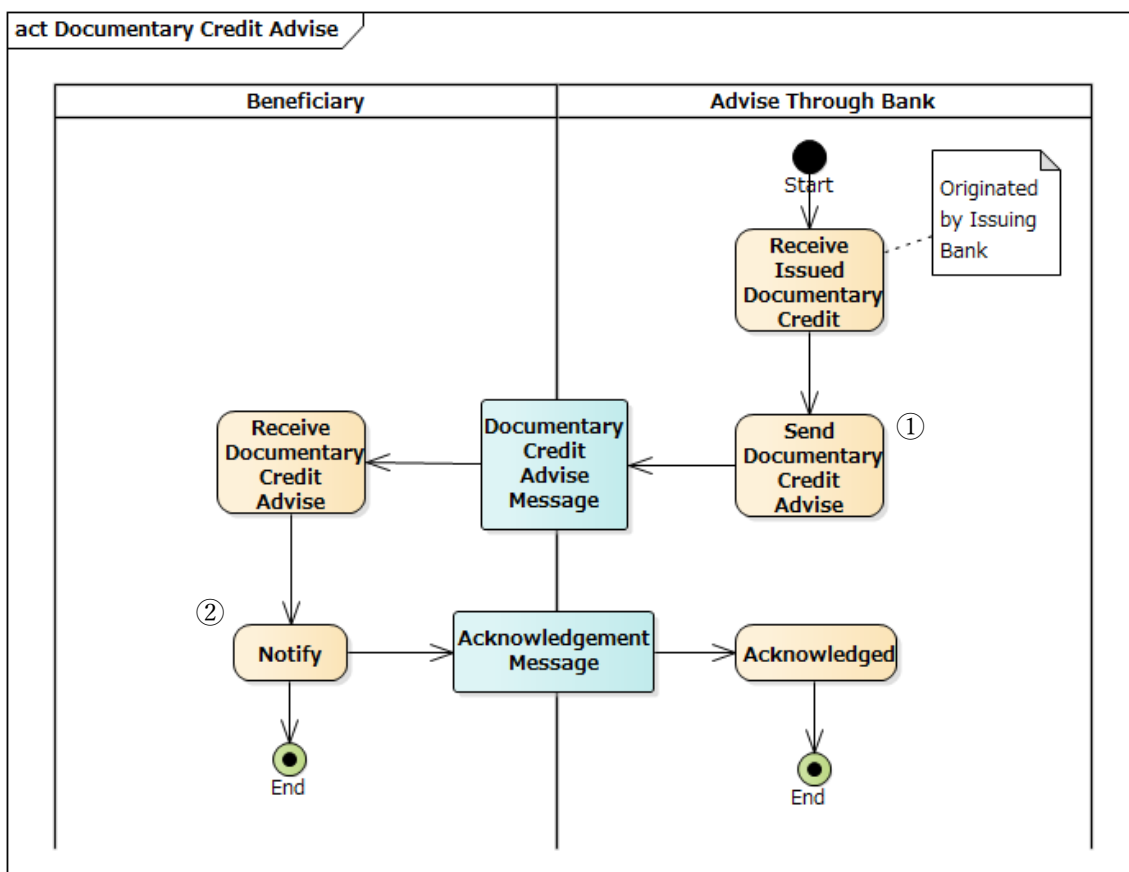


図-3.2.4 信用状通知プロセス

- ① 信用状の発行を受けた通知銀行は信用状通知情報を受益者に送付する。
- ② 信用状通知情報を受けた受益者は受領したことを通知銀行に返答する。

- 信用状修正プロセスを図-3.2.5 に示す。

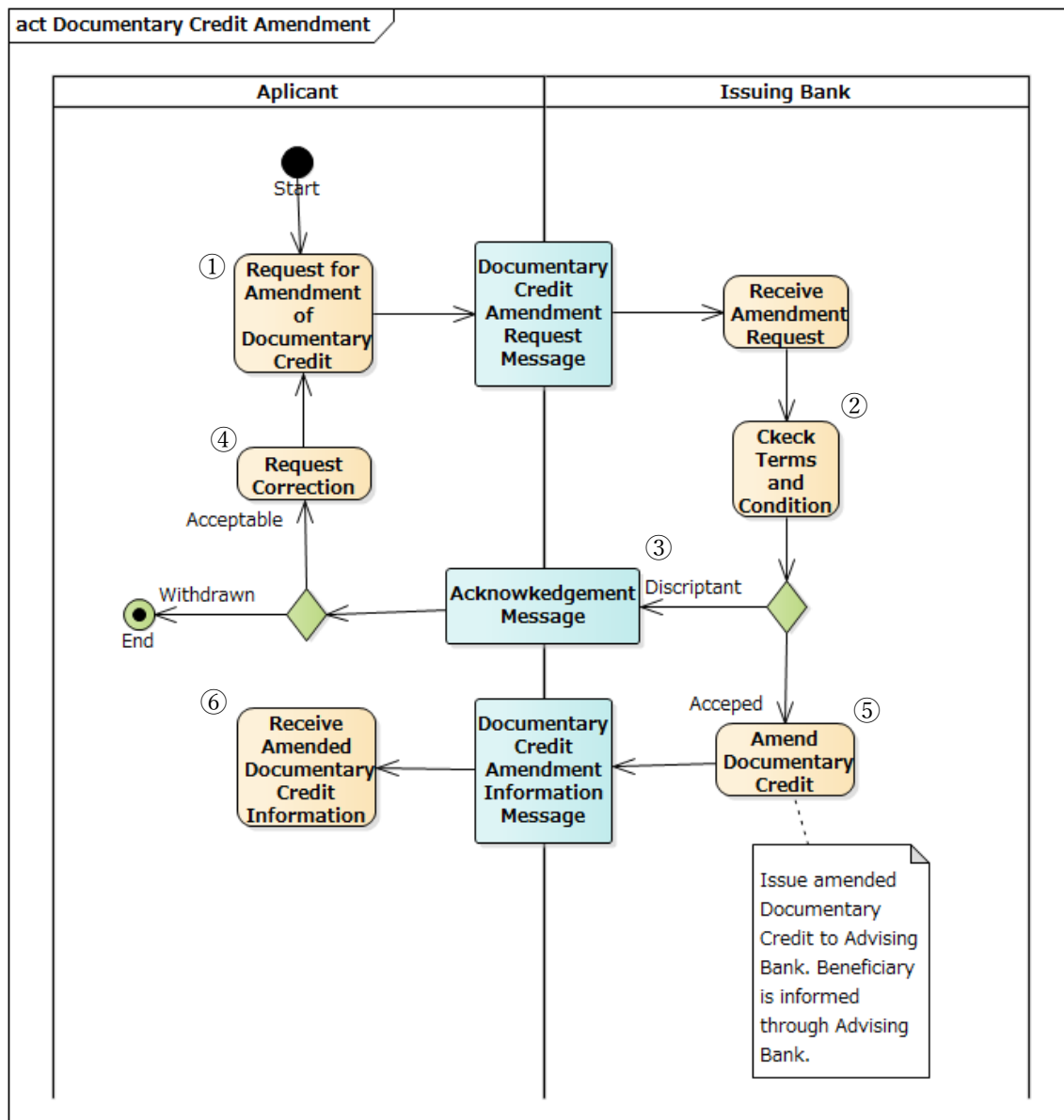


図-3.2.5 信用状修正プロセス

- ① 必要に応じて信用状の発行依頼人は、信用状修正依頼を信用状発行銀行に送付する。
- ② 信用状発行銀行は修正依頼内容の条件を審査する。
- ③ 修正依頼に問題があれば、その旨を発行依頼人に通知する。
- ④ 問題通知を受けた発行依頼人は、問題箇所を修正して再度修正依頼を行う。問題箇所の修正に対応できなければ発行申請を撤回する。
- ⑤ 発行銀行は修正依頼内容に問題がなければ通知銀行に対して修正信用状を発行するとともに修正信用状情報を発行依頼人に通知する。
- ⑥ 発行依頼人は発行銀行より修正信用状情報を受領する。

3.2.3 情報モデル

Documentary Credit プロセスで使う情報モデルとして、図-3.2.6 に示すように、B-S-P (Buy-Ship-Pay) 参照データモデルを継承する TFF (Trade Finance Facilitation) 参照データモデルを提案する。TFF は新たに定義する貿易金融信用状情報 (Trade Finance Documentary Credit) クラスと、既に CCL (Core Component Library) に登録済のサプライチェーン参照データモデル (SC RDM: Supply Chain Reference Data Model) 関連情報項目 (Supply Chain Trade Transaction)、及び複合一貫輸送参照データモデル (MMT RDM: Multi Modal Transport Reference Data Model) 関連情報項目 (Supply Chain Consignment) から必要な情報項目を取り出して構築する。また、TFF の貿易信用状申請発行プロセス (Documentary Credit Application Process) の情報項目は、SWIFT の信用状標準メッセージの情報項目にマッピングできるように揃えるものとする。

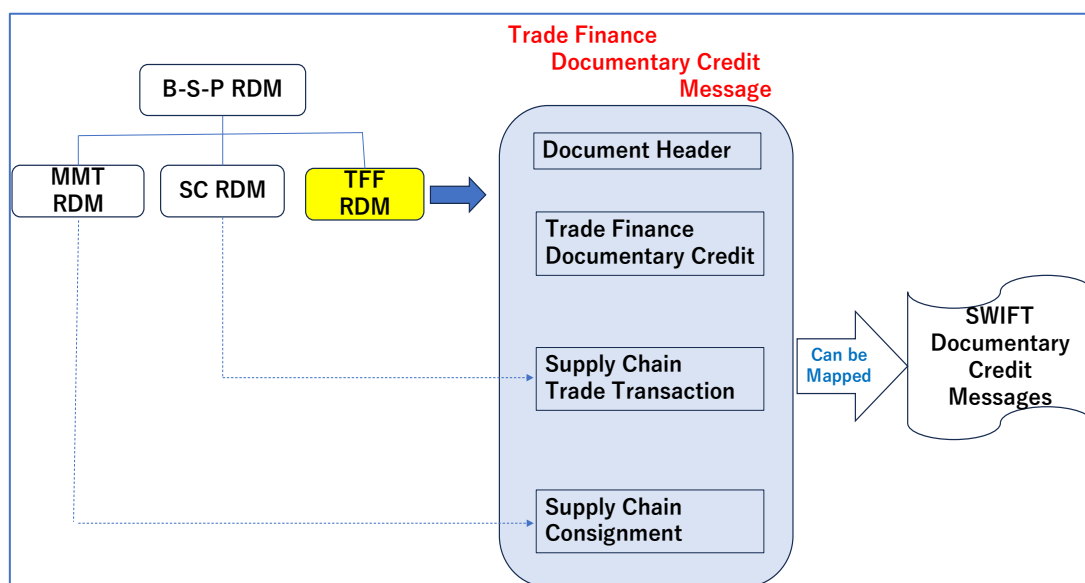


図-3.2.6 信用状データモデルの位置づけ

3.3 国連 CEFACT プロジェクト推進体制の提言

国連 CEFACT 秋季フォーラムが 2023 年 10 月 2 日-5 日、国連 ESCAP 主催によりタイ国バンコクの国連ビルにて開催された。本フォーラムでは、国連 CEFACT 貿易金融データ交換プロジェクトの推進体制を提案するとともに、日本で準備した信用状 (Documentary Credit) の業務要件仕様 (BRS) ドラフトを発表し、審議が行われた。

➤ プロジェクト推進体制

我が国から提案したプロジェクト推進体制は図-3.3.1 の通りである。

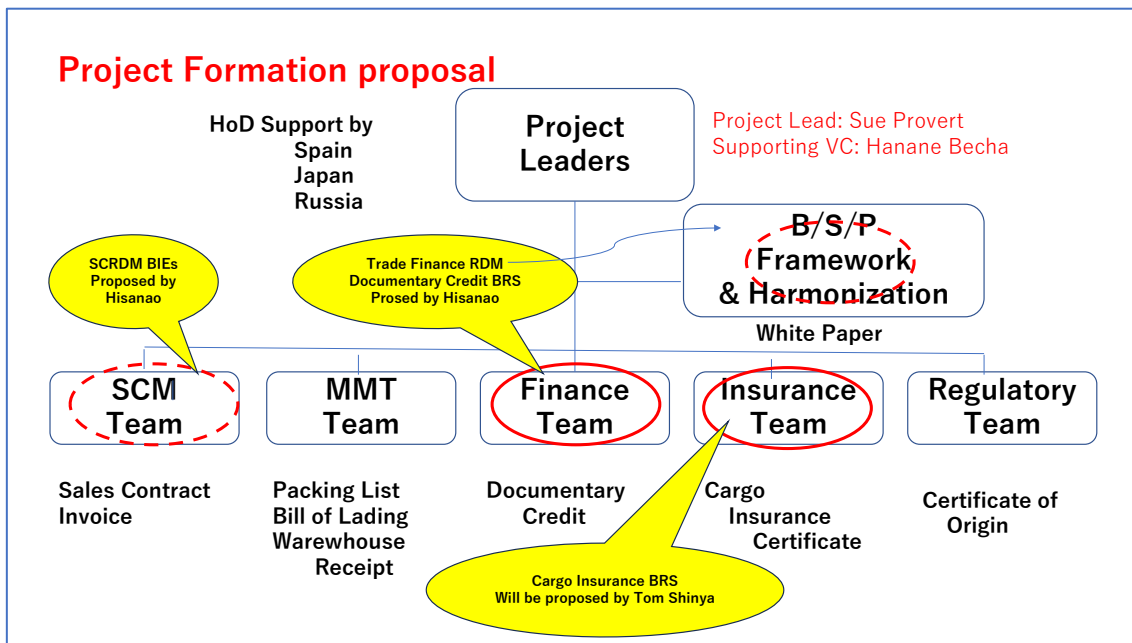


図-3.3.1 プロジェクト推進体制提案

- プロジェクトの中核の一つとなる信用状（Documentary Credit）プロセスの業務要件仕様（BRS: Business Requirement Specification）の主編集者（Lead Editor）を日本チームの菅又が担当し、金融ドメイン（Finance and Payment Domain）にて審議を先行する。
- プロジェクトのもう一つの中核である運輸物流関連文書（Packing List, Bill of Lading, Warehouse Receipt）は DCSA（Digital Container Shipping Association）が先導している FIT アライアンス（Future International Trade Alliance）の運輸物流ドメイン（MMT: Multi Modal Transport チーム）の活動をフォローする。
- 売買契約やインボイスは、SCM（Supply Chain Management）ドメインに日本の情報項目追加要望を提出する。
- 海上貨物保険については、日本から BRS 原案を提案し、日本チームの新谷氏（東京海上日動火災保険株式会社）を Lead Editor として推薦する（2024 年の国連 CEFACT フォーラムに提案）。
- 原産地証明プロセスについては、国連 CEFACT の規則／制度ドメインの動向を注視する。
- プロジェクト全般に関わる参照データ（RDM: Reference Data Model）の見直しについては、特定の業務ドメインで取り扱うのが難しいため、日本チームの菅又がコーディネータを担当する技術仕様ドメイン（Specification Domain）で、議論すべき項目につき自由討議を行って将来の対応策を考察する。

- 信用状 (Documentary Credit) 業務要件仕様 (BRS) ドラフト
金融／支払グループセッションにおいて、日本チームが準備した信用状 (Documentary Credit) 業務要件仕様 (BRS) ドラフト ([「3.2 信用状業務要件仕様の提案」](#)参照) により、説明を行った。誤字脱字の指摘はあったが、反対意見は無く合意された。

3.4 我が国貿易商社の情報項目追加提案

2022 年度事業「令和 4 年度 内外一体の経済成長戦略構築にかかる国際経済調査事業 (貿易分野デジタル化連携ツールの検討に係る貿易文書の国際標準データ項目等マッピング業務)」で、国連 CEFACT の共通辞書 (CCL) に不足する我が国の商社が使用しているインボイスに必要な追加データ項目を洗い出した。さらに、我が国の貿易情報プラットフォームサービスプロバイダーである株式会社トレードワルツからの追加要求を踏まえ、国連 CEFACT インボイス標準メッセージの改訂案を策定した(図-3.4.1)。

- ① ヘッダー情報に信用状の署名者名を追加。
- ② 契約者情報に請求先当事者を追加。
- ③ 参照信用状の信用状発行銀行を追加。
- ④ 決済情報に信用状開設者を追加。
- ⑤ 決済情報に備考欄を追加。
- ⑥ 取引明細の製品グループ種別を識別するためのコードを追加。例えば、繊維業界の場合、スタイル番号を指定することができる。
- ⑦ 価格設定場所の追加。
- ⑧ 委託貨物 (コンサインメント) に工場出荷日と発荷主代理店の有無インジケータを追加。→審議の結果、工場出荷日 (Factory Shipment Date Time) はより汎用的に施設出荷日 (Facility Shipment Date Time) とすることで合意。
- ⑨ 委託貨物明細に HS コードを追加。→HS コードは委託貨物明細タイプコード (Consignment Item Type Code) で指定できることが判明し、当要求は撤回した。なお Consignment Item Type Code で使用するコード表は貿易データ要素辞書：TDED 7357 (Commodity identification code: Code identifying a commodity for Customs, transport or statistical purposes)となっている。
- ⑩ 委託貨物 (コンサインメント) に備考を追加。

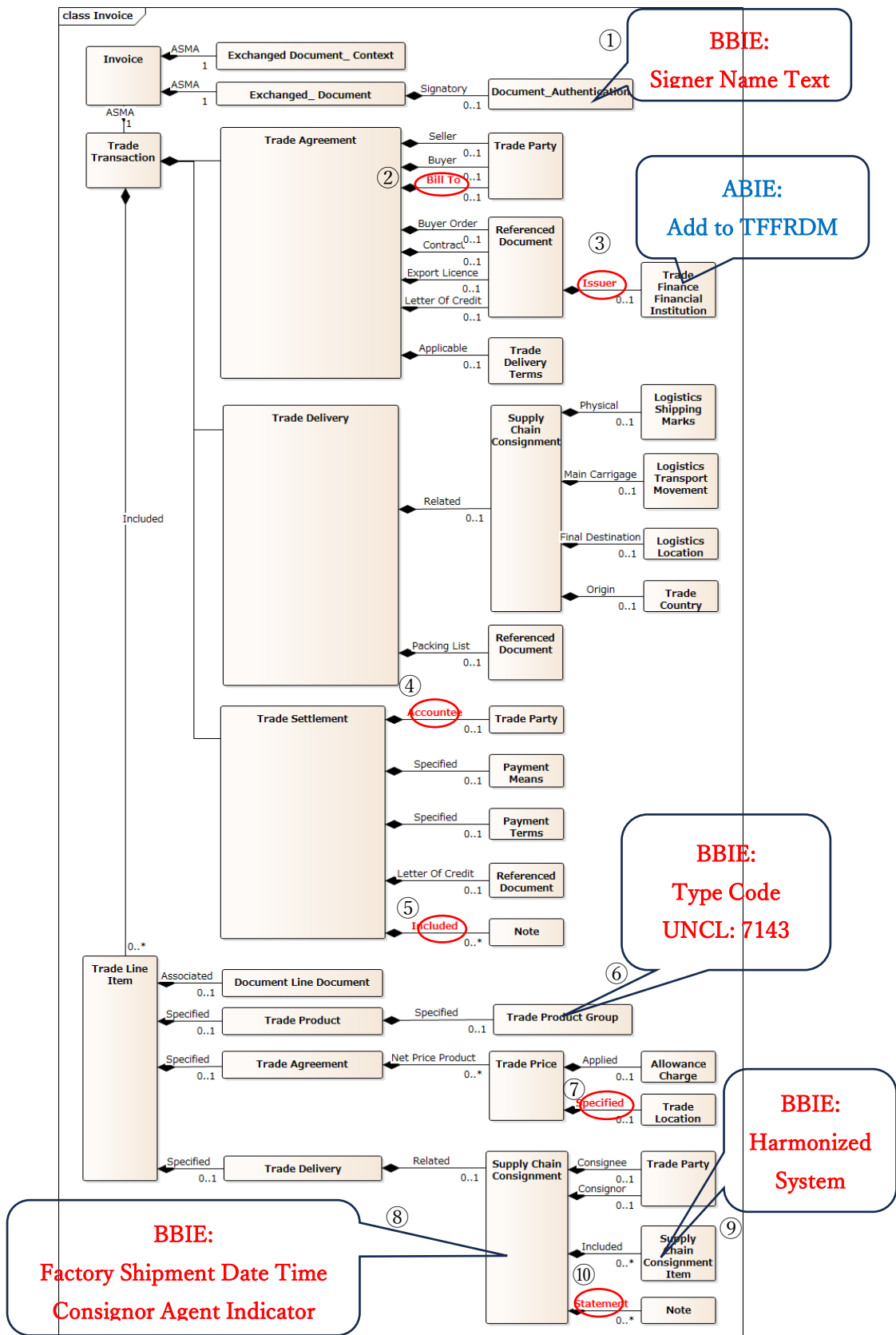


図-3.4.1 国連 CEFACT インボイス改定案

以上の改定案に基づく国連 CEFACT 共通辞書 (CCL) への追加要求は次の表の通り。

申請者附番ID	種別	辞書引き名 (DEN)	呼称	定義	繰返し	図3.4.1 対応番号
TF_IV23001	ASBIE	Header_ Trade Agreement. Billed To. Trade Party	Billed To Party	The billed to party for this header trade agreement.	0..1	②
TF_IV23002	ASBIE	Header_ Trade Settlement. Accountee. Trade Party	Accountee Party	The accountee party who opens the letter of credit for this header trade settlement.	0..1	④
TF_IV23003	ASBIE	Header_ Trade Settlement. Included. Note	Included Note	A note included in this header trade settlement.	0..n	⑤
TF_IV23004	ASBIE	Trade_ Price. Specified. Location	Location	The location where something is traded and where the price is set.	0..1	⑦
TF_IV23005	ASBIE	Supply Chain Consignment. Statement. Note	Statement Note	A note stated in this supply chain consignment.	0..n	⑩
TF_IV23006	BBIE	Trade_ Product Group. Item Type Identification. Code	Item Type Identification Code	A code specifying the item type identification of this trade product group. (The UNCL7143 can be used for this code list.)	0..1	⑥
TF_IV23007	BBIE	Supply Chain Consignment. Facility Shipment. Date Time	Facility Shipment Date Time	The date, time, date time or other date time value when this supply chain consignment will be shipped, or has been shipped from the facility.	0..1	⑧
TF_IV23008	BBIE	Supply Chain Consignment. Consignor Agent. Indicator	Consignor Agent Indicator	The indication of whether or not a consignor agent is involved in the trade of this supply chain consignment.	0..1	
Withdraw	BBIE	Specified_ Classification. Class Type. Code	Code	The class code specifying for this classification. (The UNCL1153 can be used for this code list.)	0..1	⑨
TF_IV23010	BBIE	Document_ Authentication. Signer Name. Text	Signer Name	The signer name, expressed as text, for this document authentication.	0..1	①
TF_IV23011	ASBIE	Referenced_ Document. Issuer. Trade Finance_ Financial Institution	Issuer Financial Institution	The financial institution for the trade finance that issues this referenced document. (*Note: ABIE "Trade Finance_ Financial Institution" is submitted to TFFRDM)	0..1	③
Withdraw	ASBIE	Supply Chain Consignment Item. Applicable. Specified_ Classification	Applicable Classification	The applicable classification for this consignment item.	0..1	⑨

上記の表の項目説明：

- ・ Submitter ID: 提案者が独自に附番した識別子。「Withdraw」とあるのは、要求したが撤回した項目。
- ・ Type: コアコンポーネントの種別
 - ◇ BBIE (Basic Business Information Entity) : 基本データ要素で、指定された型 (数値、文字、金額、コード、ID など) によるデータの値を持つ。
 - ◇ ASBIE (Associate Business Information Entity) : 情報クラス (ABIE : Aggregate Business Information Entity) 間の関係を定義する。
- ・ DEN: Dictionary Entry Name で、国連 CEFACT 共通辞書の辞書引き名。
- ・ Short Name: 項目の略称で、DEN の代わりにモデル図などでつかわれる。
- ・ Definition: 項目定義。
- ・ Cardinality: 項目の繰返し回数。

以上の変更と株式会社トレードワルツからの追加要求を反映したインボイスメッセージのマッピング表改訂版を「付属書2 INVOICE マッセージ改訂版」に掲載した。
なお、本改訂作業にあたっては、「国際標準の実装を通じた貿易分野のデータ連携を促進する取組：ツールの作成」で開発したメッセージ編集・検証ツールを使用した。

3.5 国連 CEFACT プロジェクト会議における貢献

2023 年秋季国連 CEFACT フォーラムにて、貿易金融データ交換プロジェクトのキックオフが行われ、2023 年 11 月より隔週 1 回のペースでプロジェクト会議（オンライン）がすすめられている。本報告書では、第 6 回（2024 年 2 月 8 日）会議までの議事内容を紹介する。

会議時間は、毎回 17:00 – 18:00（日本時間）の 1 時間で、出席者は次の通り。

Sue Probert（国連 CEFACT 議長）、Hanane Becha（運輸物流担当副議長）、
Edmund Gray（サプライチェーングループリーダー）、
Sorrentino Fabio（金融支払グループリーダー）、Aleksei Arlemenko（ロシア）、
Gerhard Heemskerk（オランダ）
菅又久直（技術仕様グループリーダー）、遠城秀和（技術検証グループリーダー）、
染谷悟（株式会社トレードワルツ）、
新谷哲之介（東京海上日動火災保険株式会社）

- 第 1 回プロジェクト会議（2023 年 11 月 30 日）
 - ・ 運輸物流担当副議長の Hanane Becha 氏より、貿易金融データ交換プロジェクトの説明が行われた。
- 第 2 回プロジェクト会議（2023 年 12 月 14 日）
 - ・ 菅又より信用状（Documentary Credit）プロセスの BRS について説明を行った。
 - ・ 質疑応答により、一部編集上のエラーを修正。
 - ・ 当 BRS のチーム内レビューを 2024 年 1 月一杯行うこととした。
- 第 3 回プロジェクト会議（2023 年 12 月 28 日）
 - ・ 日本チームから総合商社と貿易 PF の持つインボイスの情報項目と国連 CEFACT の項目を比較した結果、国連 CEFACT に追加すべき項目として 11 項目を選定。
 - ・ 新たな BRS 改訂ではなく、Library Maintenance プロセスで対応してゆく。
 - ・ 商品分類（Category Code）につき疑義が出され、次回までに追加要求を精査することとした。
- 第 4 回プロジェクト会議（2024 年 1 月 11 日）
 - ・ 取引明細の製品グループ種別を識別するためのコード（コード表 7143）を追加。例えば、繊維業界 の場合、スタイル番号を指定することができる。
 - ・ 委託貨物（コンサインメント）の工場出荷日（Factory Shipment Date Time）はよ

- り汎用的に施設出荷日 (Facility Shipment Date Time) とする。
- ・ HS コードは委託品 (Consignment Item) の一つの ID として扱われていることが判明し、日本からの新たな HS コード用データ追加提案は撤回した。
- 第5回プロジェクト会議 (2024年1月25日)
- ・ 信用状 BRS は1月末までチームレビューコメントを待ち、次回ビューロー会議 (2月22日) にて公開レビュー (60日) 開始の申請を行う。
 - ・ 信用状、インボイスなどのデータ項目の2024年A版CCL追加要望は2024年3月末までに申請する。
 - ・ それ以降 (海上貨物保険など) の追加データ項目は、2024年B版への要求とし、2024年8月末までに申請する。
 - ・ 運輸物流関連：
 - ◇ パッキングリストにつき現BRSをレビュー中。コメントがあれば提言する。
 - ◇ 我が国のレビュー結果 (2022年度事業) による追加データ項目を提案する予定。
 - ◇ 電子BLについてISO TC154で同様のプロジェクト提案があり、共同作業となる。
 - ◇ 倉庫証券 (日本ではあまり使われていない) はFIATA (International Federation of Freight Forwarders Association) に検討を依頼する。
 - ・ 海上貨物保険につき、次回会議において、日本から範囲定義を提案。
 - ・ 非特惠原産地証明については、ICC/DSI (International Chamber of Commerce / Digital Standards Initiative) と協力して新BRSを策定する予定。
- 第6回プロジェクト会議 (2024年2月8日)
- ・ 日本チームより、海上貨物保険プロセスについての目的及び定義範囲をユースケース図により提案した。海上貨物保険プロセスのBRSドラフトを2024年5月までに準備する予定。

II. TFFRDM プロジェクト提案

2023年5月8日-12日、ジュネーブの国連欧州本部にて開催された国連 CEFACT フォーラムにて菅又が発表した、貿易金融デジタル化に関わる提案説明資料を掲載する。



Requirements for the Trade Finance Project

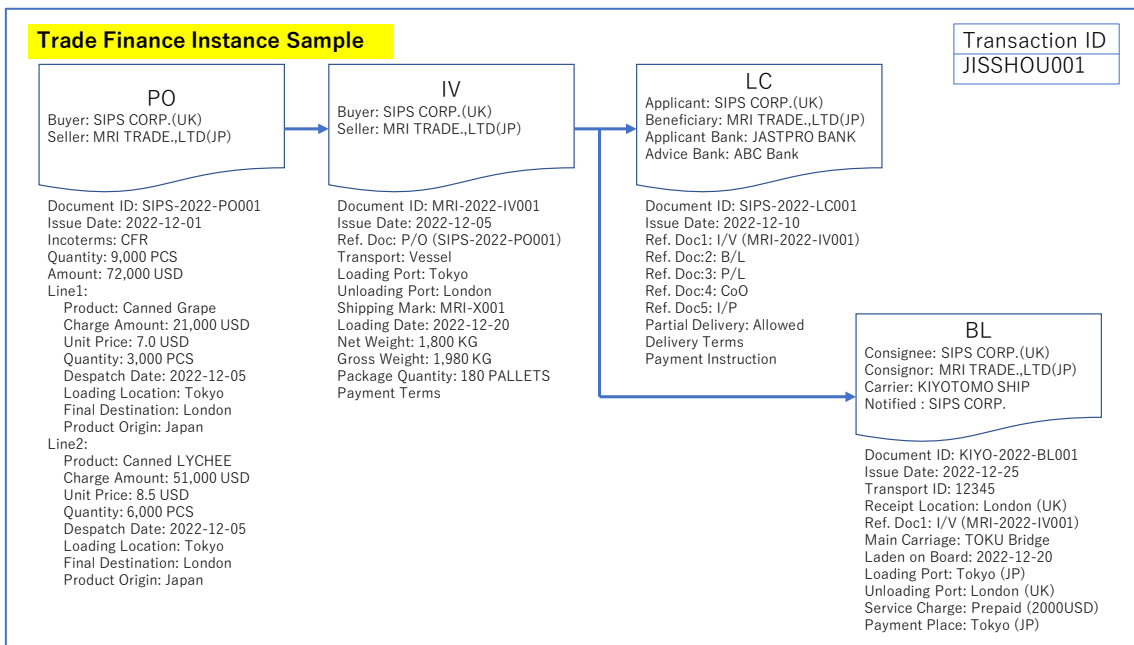
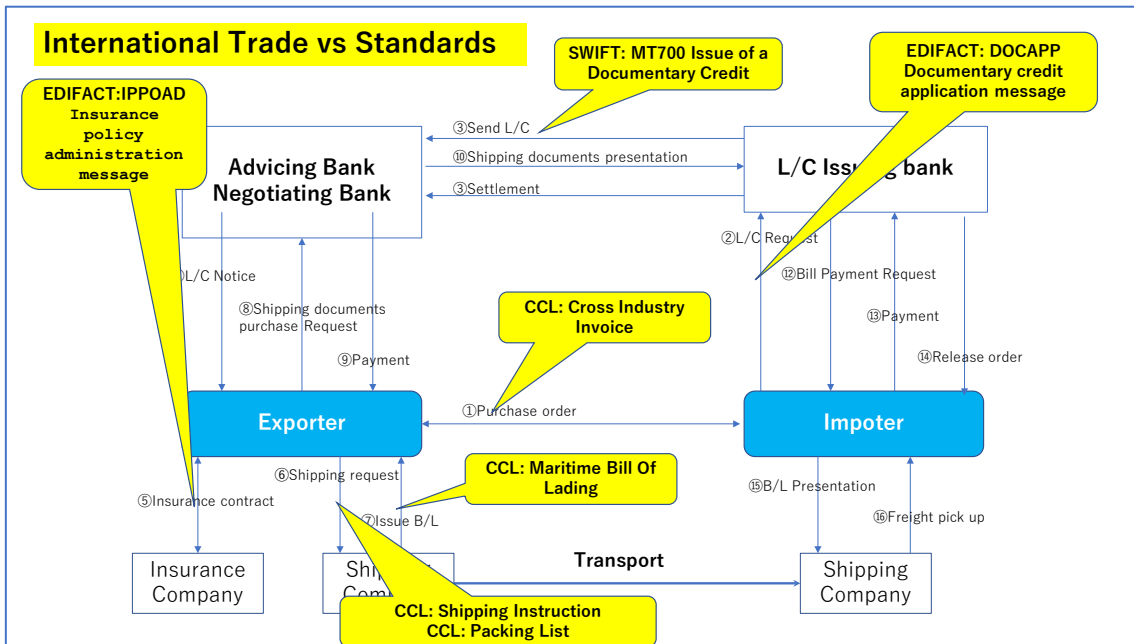
40th UN/CEFACT Forum
Hisanao Sugamata

Requirements Purpose

Build up Data Pipeline for Cross Boarder Trade
Based on the UN/CEFACT B-S-P Data model

- Focus on the semantic interoperability among the Supply Chain Commerce data, the Transport & Logistics data and the Financial data.
- Support the trade finance project approved by the Bureau.

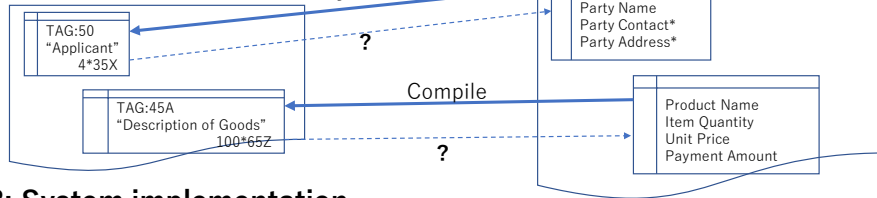
This is to confirm that the undersigned, UN/CEFACT Head of Delegation for Japan, supports the launching of "Buy/Ship/Pay Data Exchange structures for Trade Finance Facilitation" project proposed by Ms. Sue Probert and Ms. Hanane Becha.



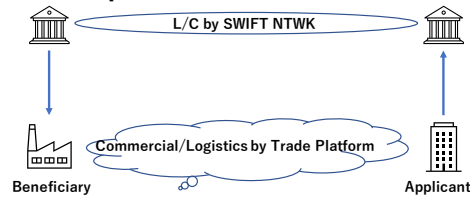
Sharing information on Financial and Commercial/Logistics

Issue1: Information mapping

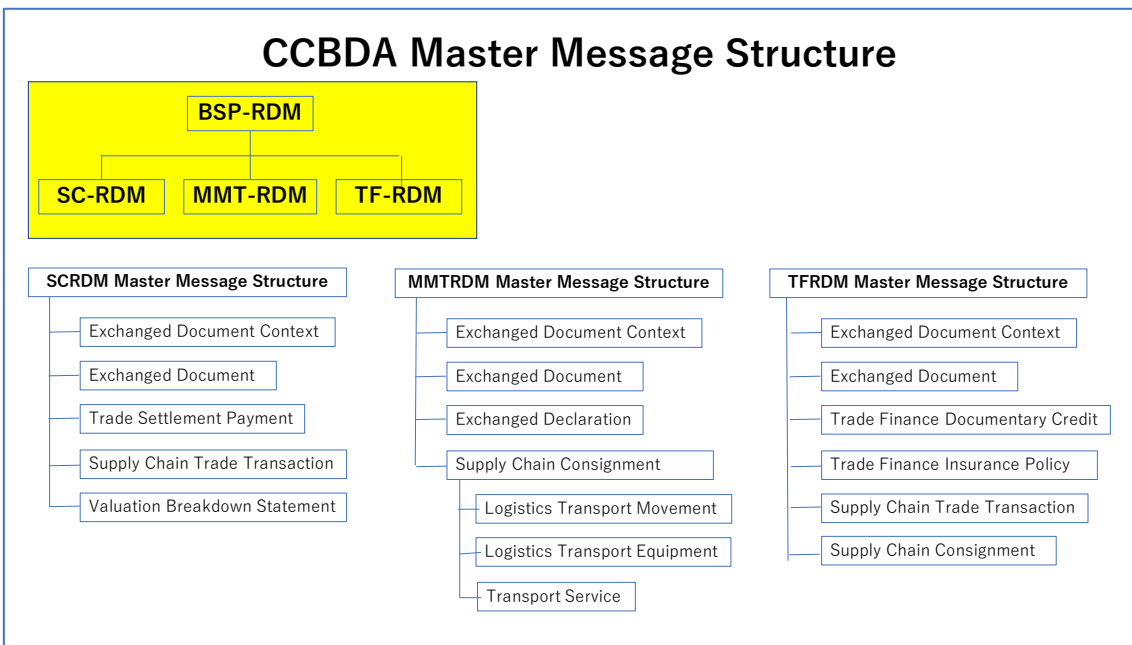
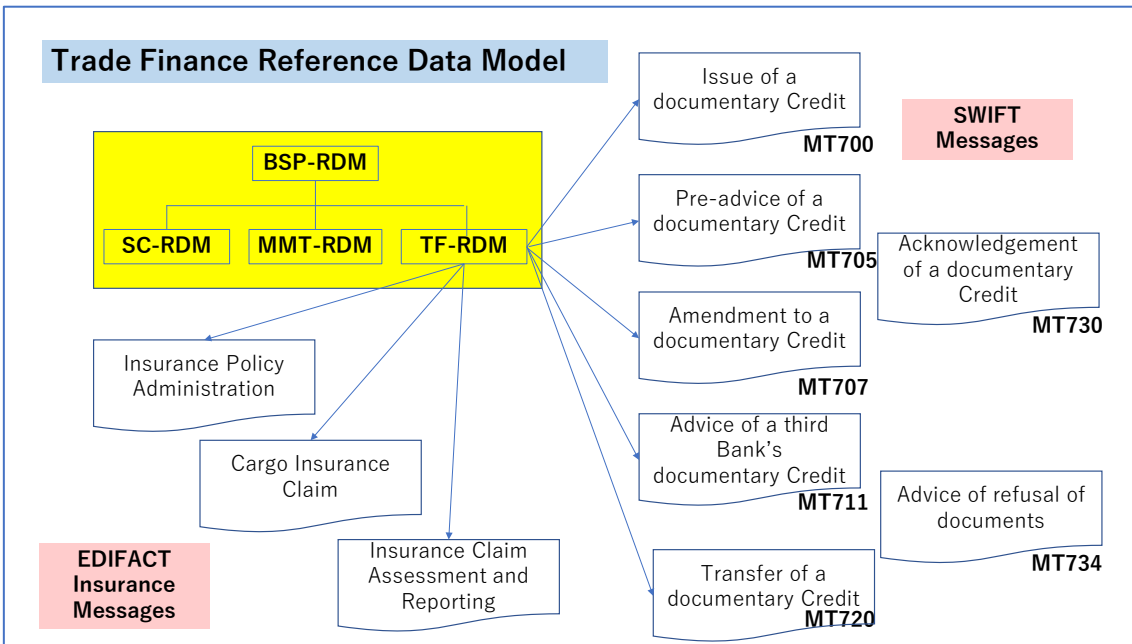
Documentary Credit: MT700



Issue2: System implementation



Initial Proposal for the Trade Finance Reference Data Model



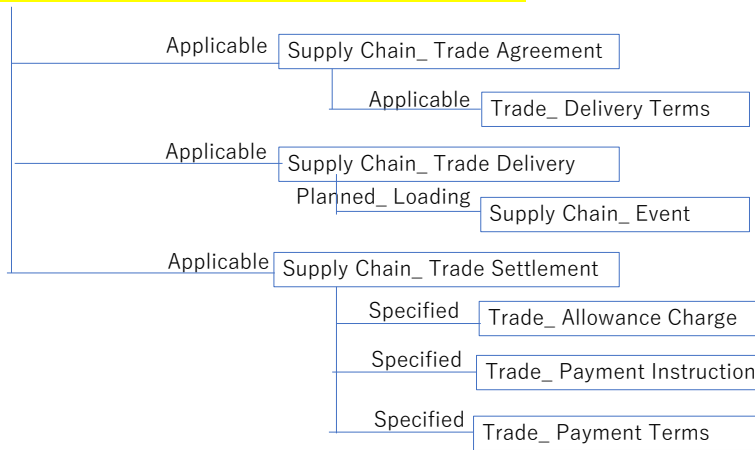
TF-RDM Master Message Structure

Exchanged Document Context	(交換文書コンテキスト)
Exchanged Document	(交換文書ヘッダー)
Trade Finance Documentary Credit	(貿易金融信用状)
Trade Finance Insurance Policy	(貿易金融損害保険証)
Supply Chain Trade Transaction	(サプライチェーン取引)
Supply Chain Consignment	(サプライチェーン委託貨物)

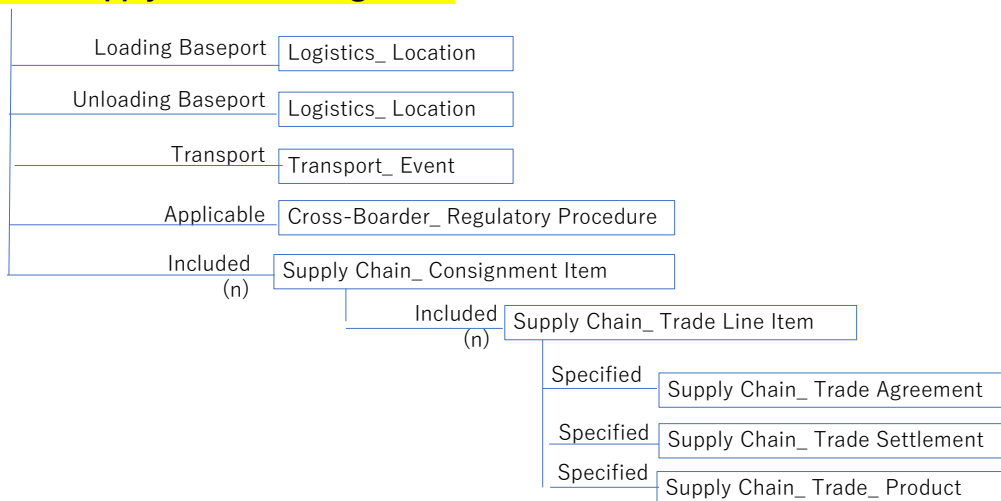
TRDM: Trade Finance_ Documentary Credit

Charge Allocation	Documentary Credit_ Financial Institution	=> EDIFACT: FII segment
Applicant Bank	Documentary Credit_ Financial Institution	=> EDIFACT: FII segment
Reimbursing Bank	Documentary Credit_ Financial Institution	=> EDIFACT: FII segment
Advice Through Bank	Documentary Credit_ Financial Institution	=> EDIFACT: FII segment
Applicant	Trade_ Party	=> EDIFACT: NAD segment
Beneficially	Trade_ Party	=> EDIFACT: NAD segment
Confirmation	Trade_ Party	=> EDIFACT: NAD segment
Specified	Documentary Credit_ Instructions	=> EDIFACT: INP segment
Applicable	Documentary Credit_ Business Function	=> EDIFACT: BUS segment
Required (n)	Referenced_ Document	=> EDIFACT: DOC segment
Applied	Note	=> EDIFACT: FTX segment

TRDM: Supply Chain_ Trade Transaction



TRDM: Supply Chain_ Consignment



Buy/Ship/Pay Data Exchange Structures for Trade Finance Facilitation

Project submitted: 8 February 2023
By Sue Probert and Hanane BECHA

Project Purpose

In order to support the implementation of MLETR for title transfer, this project will develop data exchange structures as subsets of the Buy/Ship/Pay Reference Data Model (BSP RDM) to support key trade finance data exchanges as part of the UNECE “digital and green transformations for sustainable development in the ECE region” strategy.

Project Deliverables

- BRS and eBusiness Standard for Documentary Credit Advice
- BRS and eBusiness Standard for Non-Preferential Certificate of Origin
- BRS and eBusiness Standard for Maritime Cargo Insurance Certificate
- BRS, implementation guideline and CCBDA subset for Warehouse Receipt
- CCBDA Implementation guideline for Trade Finance Subset for Invoice
- CCBDA Implementation guideline for Trade Finance Subset for Packing List
- Trade Finance White Paper

Requirements List

- Apply the project to not only ECE region but also to the world wide.
- Expand the scope of the project throughout the trade process from the sales contract to the settlement and the payment.
- Include the frame work specification of Reference Data Models under the BSP-RDM.
- Build-up the trade finance reference data model including the Documentary credit and the Insurance policy.
- Develop or Maintain the BRSs and the eBusiness Standards with the supporting CCL for the cross boarder trading documents as follows.
 - Sales Contract
 - Invoice
 - Bill of Lading
 - Certificate of Origin
 - Documentary Credit
 - Packing List
 - Warehouse Receipt
 - Cargo Insurance Certificate
- Collaborate with TC68 (ISO20022 Team) to specify the electronic messages in the trade finance.

III. Documentary Credit 業務要件仕様提案

2023年10月2日-5日、国連 ESCAP 主催によりタイ国バンコクの国連ビルにて開催された国連 CEFACT フォーラムにて日本チームの菅又が発表した、Documentary Credit 業務要件仕様に関わる提案説明資料を掲載する。

Trade Finance Documentary Credit process BRS Draft 1.0

Briefing

3rd October 2023
No.41 UN/CEFACT Forum
F+P Domain

Table of Contents

Objective & Scope

Business Requirement View

Business Process Elaboration

Documentary Credit Application Business Process
Documentary Credit Advice Business Process
Documentary Credit Amendment Business Process

Information Model Definition

Business Entity Relationship
Business Document

1. Preamble

This document describes the documentary credit process being a part of the trade finance facilitation. The business entities used in the documentary credit process is defined in the trade finance reference data model under the Buy-Ship-Pay reference data model.

The documentary credit process uses the letters of credit and other trade settlements (trade finance) which are points of contact between commercial flow, physical distribution, and money flow in trade, and information items defined in each reference data model are used in relation to each other.

This business requirement specification (BRS) does not include the documentary credit issuance process by financial institutions. The documentary credit issuance process shall be in accordance with the standards established by the banking industry (SWIFT and ISO20022). If it is necessary to link this documentary credit process with banking industry standards, it is recommended to map the information items specified in this BRS to standard documents specified by the banking industry.

3. Objectives

The objective of this document is to standardize the business processes, the business transactions and the information entities of the documentary credit used by the industries in the trade finance, supply chain and transport and logistics.

The business process is the detailed description of the way trading partners, transport and logistics players and financial institutes intend to play their respective roles, establish business relations and share responsibilities to interact efficiently with the support of their respective information systems.

Each business transaction is realized by an exchange of business documents (also called messages). The sequence in which these documents are used, composes a particular instance of a scenario and are presented as use cases in the document.

The business documents are composed of business information entities (BIE), which are preferably taken from libraries of reusable business information entities. The contents of the business documents and the business information entities are presented using class diagrams and/or requirement lists.

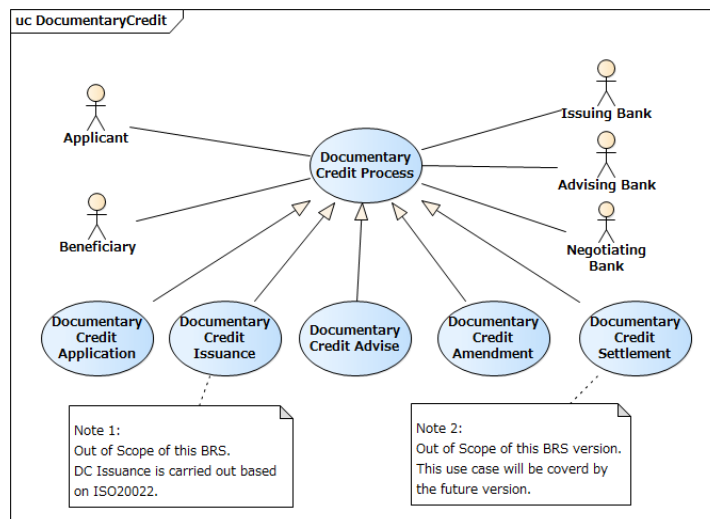
4. Scope

A documentary credit is a document of guarantee in which the importer's bank promises to pay the price on behalf of the importer, provided that the exporter presents the shipping documents in accordance with the documentary credit. **The documentary credit process begins with the importer's application for a documentary credit and covers the exporter's settlement procedures.**

This BRS covers everything from the importer's application for a documentary credit, the bank's issuance of the documentary credit, notification of the documentary credit to the exporter, modification of the documentary credit, and settlement process by the exporter. It does not go into details of the process and information model of a documentary credit issuance procedures which comply with banking industry standards, such as SWIFT standard.

In addition, the final process, the details of the exporter's settlement procedure, is not covered in this BRS, and we look forward to the next version.

5.1 Business Domain Use Case



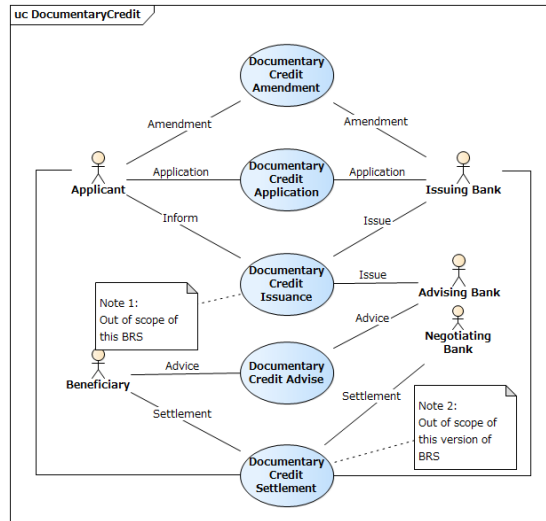
Note 1:

This document does not go into details of the process and information model of a documentary credit issuance procedures which comply with banking industry standards, such as SWIFT standard.

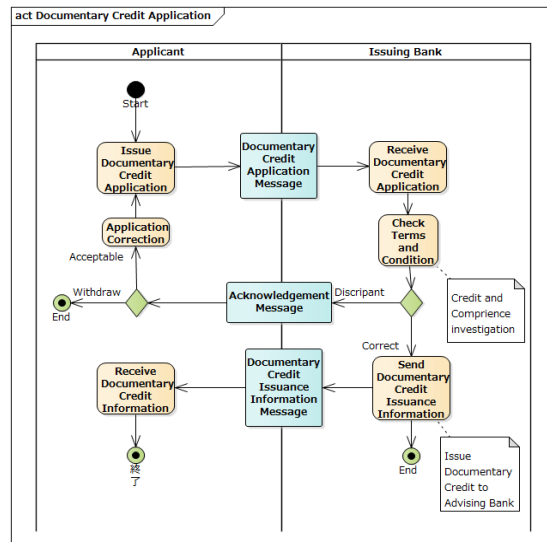
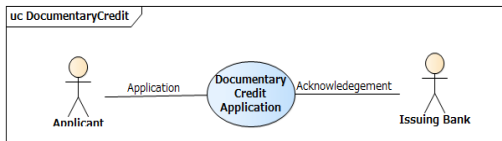
Note 2:

The details of the exporter's settlement procedure, is not covered in this BRS, and we look forward to the next version.

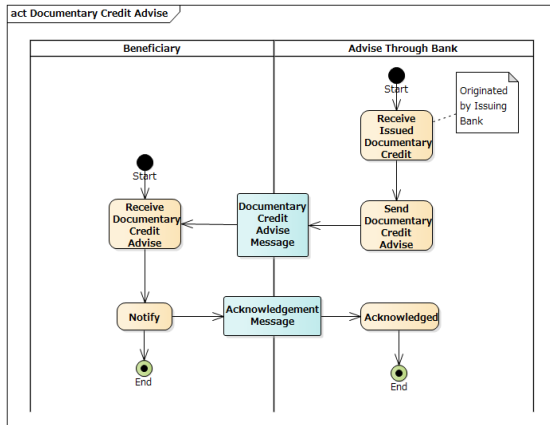
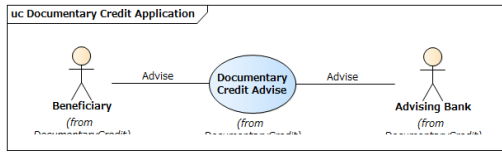
5.2 Business Collaboration Use Case



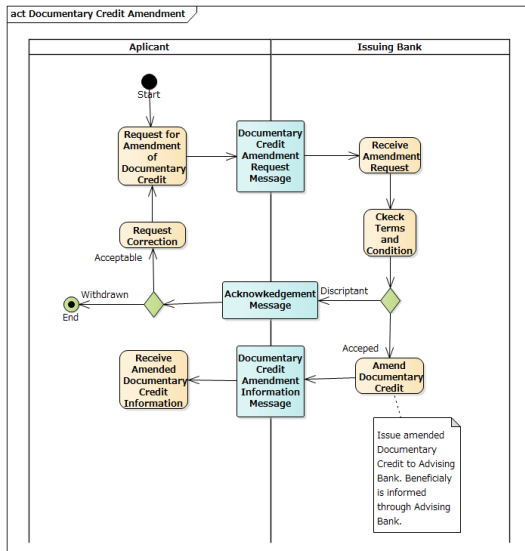
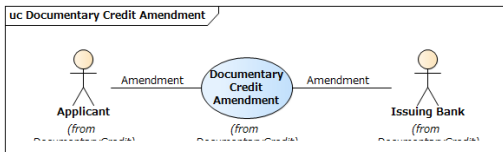
5.4.1 Documentary Credit Application Business Process

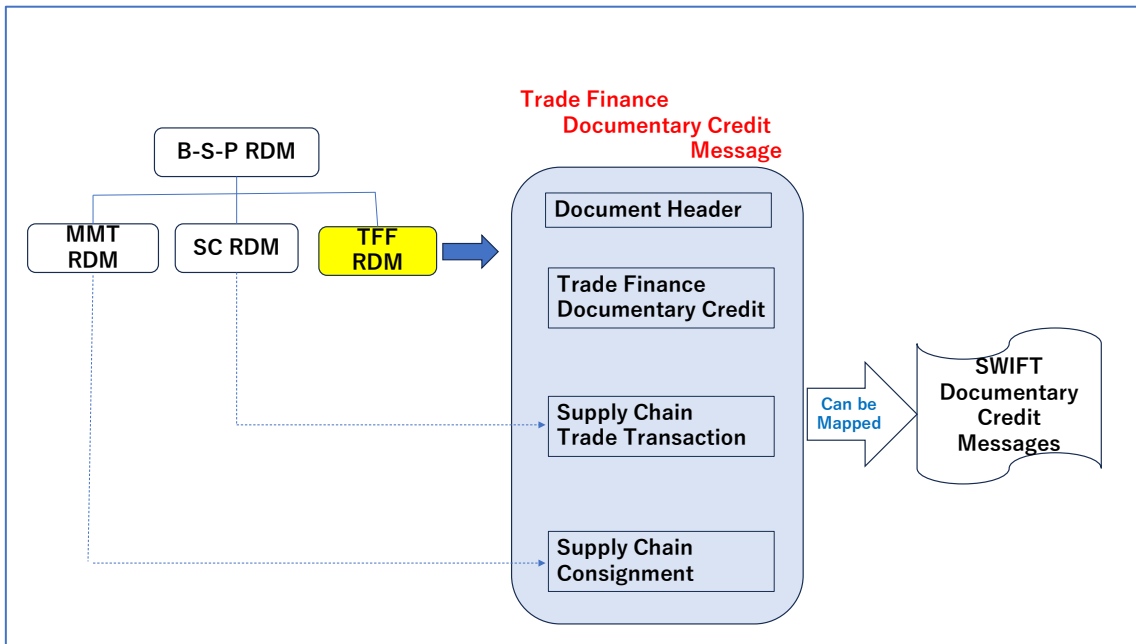


5.4.2 Documentary Credit Advice Business Process

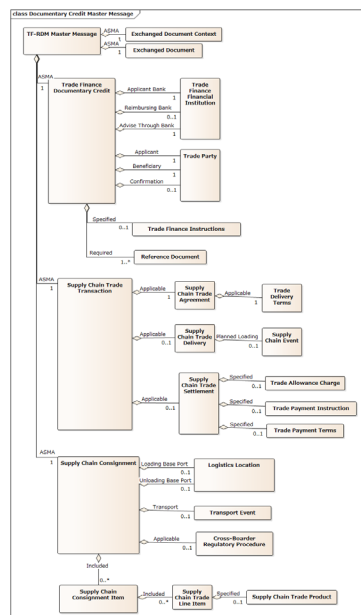


5.4.3 Documentary Credit Amendment Business Process



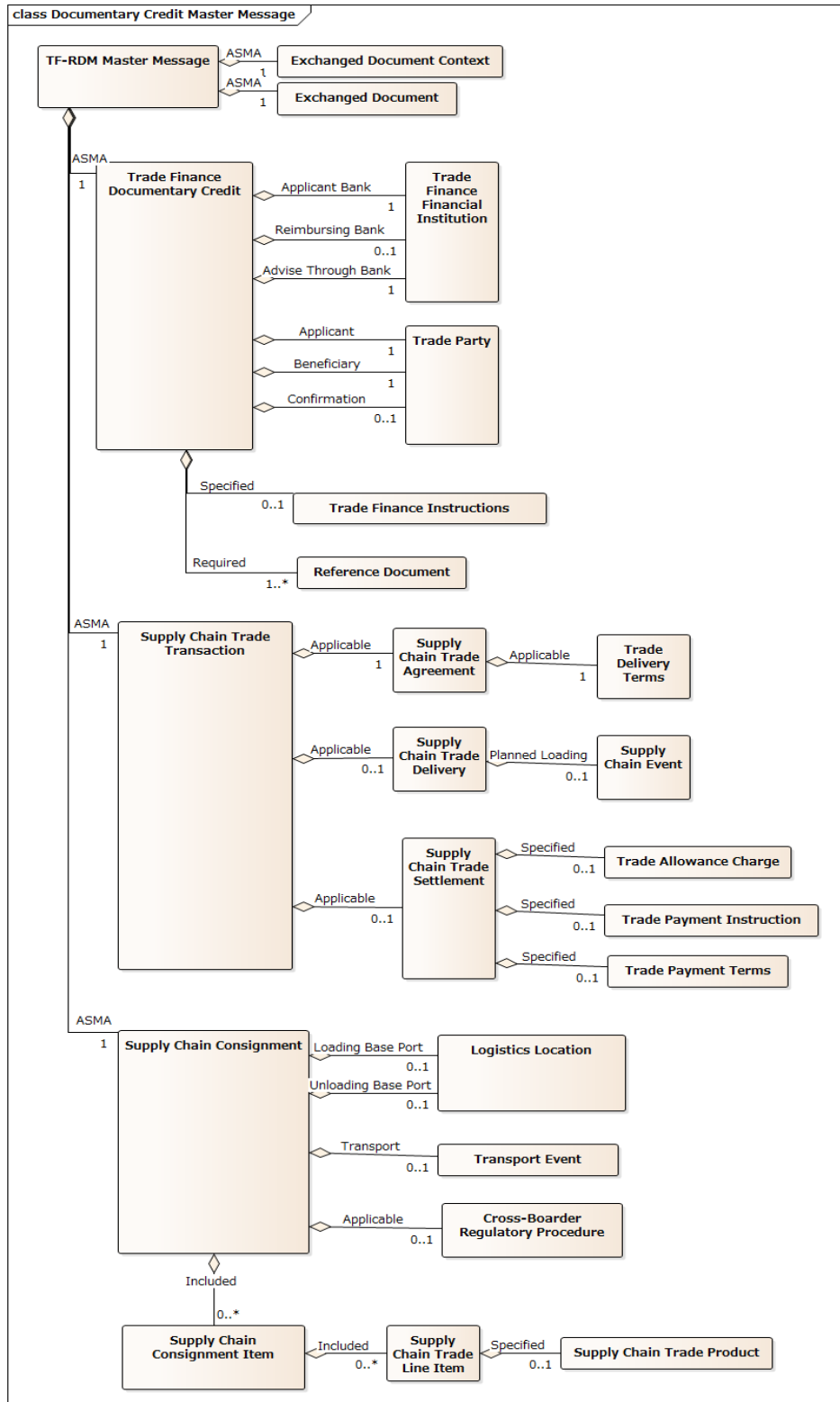


5.5.1 Business Entity Relationship



IV. TFFRDM 情報モデル提案

信用状 (Documentary Credit) メッセージの全体クラス図を下記に示す。



以下に信用状 (Documentary Credit) メッセージで使用するデータ項目 (BIE: Business Information Entity) の一覧表を掲載する。

「UID」欄で黄色にマークされている BIE は、国連 CEFACT 共通辞書 (CCL) に追加申請予定候補である。

下記 BIE 表の項目説明：

- ・ Type: コアコンポーネントの種別
 - ◇ MA (Message Assembly) : メッセージ構造。
 - ◇ ASMA (Associate Message Assembly) : メッセージ直下の情報クラス。
 - ◇ ABIE (Aggregate Business Information Entity) : 情報クラス。複数の BBIE と ASBIE の意味のある集合体。
 - ◇ BBIE (Basic Business Information Entity) : 基本データ要素で、指定された型 (数値、文字、金額、コード、ID など) によるデータの値を持つ。
 - ◇ ASBIE (Associate Business Information Entity) : 情報クラス (ABIE : Aggregate Business Information Entity) 間の関係を定義する。
- ・ UID (UN Identifier) : 国連 CEFACT で附番したデータ項目の識別子。ただし、黄色にマークされた ID は当該項目を申請した当事者が独自に附番したもので、今後国連 CEFACT ライブラリ保守チームにより審議が行われる。
- ・ Short Name: 項目の略称で、DEN の代わりにモデル図などでつかわれる。
- ・ Definition: 項目定義。
- ・ Cardinality: 項目の繰り返し回数。

➤ メッセージ構造定義 BIE

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
MA		Documentary Credit	In international trade, an arrangement in which a bank in a country importing goods agrees to pay for goods being exported when it receives documents showing that the goods have been sent.	-
ASMA	UN01003540	Exchanged Document Context	The scenario or setting of an exchanged document, such as its business process application context.	1..1
ASMA	UN01002487	Exchanged Document	A collection of data for a piece of written, printed or electronic matter that is exchanged between two or more parties.	1..1
ASMA	TF_DC23001	Trade Finance Documentary Credit	It is used to specify stakeholders and to indicate the terms and conditions of this documentary credit process.	1..1
ASMA	UN01004475	Supply Chain Trade Transaction	A group of supply chain trade line items, trade agreement, trade delivery and trade settlement details.	1..1
ASMA	UN01004159	Supply Chain Consignment	A separately identifiable collection of goods items to be transported or available to be transported from one consignor to one consignee in a supply chain via one or more modes of transport where each consignment is the subject of one single transport contract.	1..1

➤ 文書ヘッダーBIE (その1)

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
Document Header Group				
ABIE	UN01003540	Exchanged Document Context	The scenario or setting of an exchanged document, such as its business process application context.	
BBIE	UN01003541	Transaction ID	The identifier of a specified transaction in this exchanged document context.	1..1
BBIE	UN01012761	Processing Transaction Date Time	The date time of the processing of a transaction for this exchanged document context.	0..1
ASBIE	UN01003542	Business Process Parameter	A business process context parameter specified for this negotiation.	0..n
ASBIE	UN01003545	Application Parameter	An application context parameter specified for this exchanged document context.	0..n
ABIE	UN01004852	Document Context Parameter	A feature that is fixed for a particular document context.	
BBIE	UN01004853	ID	The unique identifier of this document context parameter.	0..1
BBIE	UN01004854	Value Text	The value, expressed as text, of this document context parameter.	0..1
ABIE	UN01002487	Exchanged Document	A collection of data for a piece of written, printed or electronic matter that is exchanged between two or more parties.	
BBIE	UN01002488	Document ID	The identifier of this exchanged document, such as the Document Credit Number (MT700).	0..1
BBIE	UN01002489	Document Name	A name, expressed as text, of this exchanged document.	0..n
BBIE	UN01002491	Type Code	The code specifying the type of exchanged document.	0..1
BBIE	UN01002493	Issue Date Time	The date, time, date time or other date time value for the issuance of this exchanged document.	0..1
BBIE	UN01003549	Submission Date Time	The date, time, date time or other date time value for the formal submission of this exchanged document to a receiver by a sender.	0..1
BBIE	UN01003561	Purpose Code	A code specifying the purpose of this exchanged document, such as request or cancelled.	0..n
BBIE	UN01003566	Page ID	The identifier of a specific page of this exchanged document.	0..1
BBIE	UN01003570	Sender Assigned ID	A sender assigned identifier for this exchanged document.	0..n
BBIE	UN01003577	Total Page Quantity	The total number of pages for this exchanged document.	0..1
BBIE	UN01014678	Subtype Code	The code specifying the Subtype of exchanged document, such as negotiation or initiation.	0..1

➤ 文書ヘッダーBIE (その2)

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
BBIE	UN01014678	Subtype Code	The code specifying the Subtype of exchanged document, such as negotiation or initiation.	0..1
BBIE	TF_DC23002	Transferable Indicator	The indication of whether or not this exchanged document is transferable.	0..1
ASBIE	UN01002498	Reference Document	Other documents referenced by this exchanged document.	0..n
ABIE	UN01001569	Referenced Document	Written, printed or electronic matter that is referenced.	
BBIE	UN01003991	Document ID	The identifier for this referenced document.	0..1
BBIE	UN01001577	Document Type Code	The code specifying the type of referenced document.	0..1
ASBIE	UN01002499	Signatory Document Authentication	A signatory document authentication for this exchanged document.	0..n
ABIE	UN01002639	Document Authentication	A proof that a document is genuine.	
BBIE	UN01002640	Document Authentication Type Code	The code specifying the type of document authentication.	0..1
BBIE	UN01003520	Document Authentication ID	The identifier for this document authentication.	0..1
BBIE	UN01012687	Signatory Image	The signatory image, expressed as a binary object, for this document authentication.	0..1
ASBIE	UN01003578	Effective Period	The specified period within which this exchanged document is effective.	0..1
ABIE	UN01001270	Period	A specified period of time.	
BBIE	UN01001274	Start Date Time	The date, time, date time or other date time value for the start of this specified period of time.	0..1
BBIE	UN01001275	End Date Time	The date, time, date time or other date time value for the end of this specified period of time.	0..1
ASBIE	TF_DC23003	Presentation Logistics Location	The location where this exchanged document is to be presented.	0..1
ABIE	UN01003679	Logistics Location	A logistics related physical location or place.	
BBIE	UN01003680	Logistics Location ID	The identifier for this logistics related location.	0..1
BBIE	UN01003681	Logistics Location Name	A name, expressed as text, of this logistics related location.	0..n
ASBIE	UN01002497	Included Note	A note included in this exchanged document.	0..n
ABIE	UN01002519	Note	A textual or coded description, such as a remark or additional information.	
BBIE	UN01002522	Note Content	A content, expressed as text, of this note.	0..n

➤ 貿易金融データ項目：Trade Finance Documentary Credit（その1）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
Trade Finance Documentary Credit				
ABIE	TF_DC23001	Trade Finance Documentary Credit	An arrangement in which a bank in a country importing goods agrees to pay for goods being exported when it receives documents showing that the goods have been sent in this trade finance.	
ASBIE	TF_DC23004	Applicant Bank Trade Finance Financial Institution	The financial institution that services the applicant of this documentary credit. The service includes issuing documentary credit.	0..1
ASBIE	TF_DC23005	Reimbursing Bank Trade Finance Financial Institution	The financial institution that reimburses to the nominated bank this documentary credit.	0..1
ASBIE	TF_DC23006	Advise Through Bank Trade Finance Financial Institution	The financial institution that advises the intended beneficiary of this documentary credit.	0..1
ABIE	TF_DC23007	Trade Finance Financial Institution	The institution that provides financial services and financial transactions for this trade finance.	
BBIE	TF_DC23008	BIC	The unique Bank Identification Code (BIC) as defined in ISO 9362 for this trade finance.	0..1
BBIE	TF_DC23009	ID	The identifier for this trade finance financial institution.	0..1
BBIE	TF_DC23010	Name	A name, expressed as text, for this trade finance financial institution.	0..n
BBIE	TF_DC23011	Branch Name	A branch name, expressed as text, for this trade finance financial institution.	0..n
ASBIE	TF_DC23012	Financial Institution Location Address	The location address for this financial institution.	0..1
ABIE	UN01003173	Financial Institution Address	The location at which a financial institution may be found or reached.	
BBIE	UN01003182	Post Code	The code specifying the postcode for this financial institution address.	0..1
BBIE	UN01003175	Line One	The first free form line, expressed as text, of this financial institution address.	0..1
ASBIE	TF_DC23013	Financial Institution Residence Country	The residence country where this financial institution is located.	0..1
ABIE	TF_DC23014	Financial Institution Country	The country where this financial institution is located.	
BBIE	TF_DC23015	ID	The identifier for this country of residence.	0..1

➤ 貿易金融データ項目：Trade Finance Documentary Credit（その2）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
BBIE	TF_DC23016	Name	A name, expressed as text, for this country of residence.	0..n
ASBIE	TF_DC23017	Financial Institution Trade Contact	A trade contact defined for this Financial Institution.	0..n
ASBIE	TF_DC23018	Applicant Trade Party	The applicant trade party for this documentary credit.	0..1
ASBIE	TF_DC23019	Beneficiary Trade Party	The beneficiary trade party for this documentary credit.	0..1
ASBIE	TF_DC23020	Confirmation Trade Party	The confirmation trade party for this documentary credit.	0..1
ABIE	UN01004594	Trade Party	An individual, a group, or a body having a role in a trade business function.	
BBIE	UN01004595	ID	An identifier of this trade party.	0..n
BBIE	TF_DC23021	LEI ID	The Legal Entity Identifier (LEI) of this trade party.	0..1
BBIE	UN01004598	Name	A name, expressed as text, for this trade party.	0..n
ASBIE	UN01004602	Trade Party Trade Contact	A trade contact defined for this trade party.	0..n
ABIE	UN01001640	Trade Contact	A person or a department that acts as a point of contact with another person or department in a trading relationship.	
BBIE	UN01001641	ID	An identifier for this trade contact.	0..1
BBIE	UN01001642	Person Name	A name, expressed as text, of this trade contact person.	0..1
ASBIE	UN01004564	Telephone Communication	Telephone communication information for this trade contact.	0..1
ASBIE	UN01004569	Email URI Communication	The email URI communication information for this trade contact.	0..1
ABIE	UN01001252	Universal Communication	The exchange of thoughts, messages, or information, as universally exchanged by speech, signals, writing, or behaviour between persons and/or organizations.	
BBIE	UN01001256	Complete Number	The text string of characters that make up the complete number for this universal communication.	0..1
BBIE	UN01015468	Email URI	The Uniform Resource Identifier (URI) of the email for this universal communication.	0..1
ASBIE	TF_DC23022	Specific Trade Finance Instructions	Trade finance instructions for this documentary credit.	0..n
ABIE	TF_DC23023	Trade Finance Instructions	Rules and information for this trade finance of an instructive nature.	
BBIE	TF_DC23024	Type	A type, expressed as text, for this trade finance instructions.	0..n
BBIE	TF_DC23025	Applicable Rule	An applicable rule, expressed as text, for this trade finance instructions.	0..n

➤ 貿易金融データ項目：Trade Finance Documentary Credit（その3）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
BBIE	TF_DC23026	Confirmation	A confirmation, expressed as text, for this trade finance instructions.	0..n
BBIE	TF_DC23027	Description	A textual description of this trade finance instructions.	0..n
ASBIE	TF_DC23028	Required Referenced Document	A required document referenced for this documentary credit.	0..n
ABIE	UN01001569	Referenced Document	Written, printed or electronic matter that is referenced.	
BBIE	UN01001577	Type Code	The code specifying the type of referenced document.	0..1
BBIE	UN01003991	ID	An identifier for this referenced document.	0..n
BBIE	UN01004002	Original Required Quantity	The number of originals required of this referenced document.	0..1
BBIE	UN01004003	Copy Required Quantity	The number of copies required of this referenced document.	0..1
ASBIE	UN01012756	Included	A note included in this referenced document.	0..n
ABIE	UN01002519	Note	A textual or coded description, such as a remark or additional information.	
BBIE	UN01002522	Content	A content, expressed as text, of this note.	0..n

➤ 取引データ項目：Supply Chain Trade Transaction（その1）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
Supply Chain Trade Transaction				
*This spread sheet shows a sample data model of Supply Chain Trade Transaction.				
*The full set of the data model can be refered in SCRDM.				
ABIE	UN01004475	Supply Chain Trade Transaction	A group of supply chain trade line items, trade agreement, trade delivery and trade settlement details.	
ASBIE	UN01004482	Applicable Supply Chain Trade Agreement	A trade agreement applicable to this supply chain trade transaction, such as payment or delivery terms.	0..n
ABIE	UN01004333	Supply Chain Trade Agreement	The contractual terms of a supply chain trade agreement.	
ASBIE	UN01004347	Applicable Trade Delivery Terms	The terms of delivery applicable to this supply chain trade agreement.	0..1
ABIE	UN01001654	Trade Delivery Terms	Conditions agreed upon between the parties with regard to the delivery of goods and or services for trade purposes.	
BBIE	UN01001655	Delivery Type Code	The code specifying the type of delivery for these trade delivery terms, such as International Commercial Terms (Incoterms).	0..1
BBIE	UN01001656	Description	A textual description of these trade delivery terms.	0..n
ASBIE	UN01001657	Relevant Trade Location	The trade location relevant for these trade delivery terms.	0..1
ABIE	UN01001658	Trade Location	A physical location or place used or referenced for trade purposes.	
BBIE	UN01001661	ID	The identifier for this location used or referenced in trade.	0..1
BBIE	UN01001662	Name	The name, expressed as text, of this location used or referenced in trade.	0..1
ASBIE	UN01004483	Applicable Supply Chain Trade Delivery	A trade delivery applicable to this supply chain trade transaction.	0..n
ABIE	UN01004367	Supply Chain Trade Delivery	Supply chain shipping arrangements and movement of products and or services including despatch and delivery.	
BBIE	UN01004368	Partial Delivery Allowed Indicator	The indication of whether or not this supply chain trade delivery can be partially delivered.	0..1
BBIE	TF_DC23029	Quantity Allowance Percent	The percentage applied to quantity allowance of this supply chain trade delivery.	0..1
ASBIE	UN01004408	Planned Loading Supply Chain Event	The planned loading event for this supply chain trade delivery.	0..1
ABIE	UN01004291	Supply Chain Event	A significant occurrence or happening in a supply chain.	
BBIE	UN01004293	Occurrence Date Time	A date, time, date time, or other date time value of an occurrence of this supply chain event.	0..n
BBIE	UN01009019	Latest Occurrence Date Time	The date, time, date time, or other date time value of the latest occurrence of this supply chain event.	0..1

➤ 取引データ項目：Supply Chain Trade Transaction（その2）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
ASBIE	UN01004484	Applicable Supply Chain Trade Settlement	The trade settlement applicable to this supply chain trade transaction.	0..1
ABIE	UN01004433	Supply Chain Trade Settlement	The information that enables the financial reconciliation of a supply chain transaction with the item(s) that the financial transaction is intended to settle.	
BBIE	UN01004437	Payment Amount	The monetary value of the payment for this supply chain trade settlement.	0..1
BBIE	UN01006035	Payment Currency Code	The monetary value of the payment for this supply chain trade settlement.	0..1
ASBIE	UN01004462	Specified Trade Allowance Charge	A trade allowance or charge specified for this supply chain trade settlement.	0..n
ABIE	UN01001631	Trade Allowance Charge	A component of pricing, such as an allowance or charge for trade purposes.	
BBIE	UN01001635	Calculation Percent	The percentage applied to calculate this trade allowance charge.	0..1
BBIE	UN01002069	Actual Amount	An actual monetary value of the trade allowance charge.	0..n
BBIE	UN01008859	Type Code	The code specifying the type of this trade allowance charge.	0..1
ASBIE	TF_DC23030	Specified Trade Payment Instruction	A trade payment instruction specified for this supply chain trade settlement.	0..n
ABIE	UN01004622	Trade Payment Instruction	Instructions related to the processing of a trade payment.	
BBIE	TF_DC23031	Condition	A condition, expressed as text, for this trade payment instruction.	0..n
BBIE	TF_DC23032	Beneficiary Condition	A beneficiary condition, expressed as text, for this trade payment instruction.	0..n
ASBIE	TF_DC23033	Specified Referenced Location	The referenced location specified for this trade payment instruction.	0..1
ABIE	UN01002558	Referenced Location	A reference to a physical location or place.	
BBIE	UN01002559	ID	An identifier for this referenced location.	0..n
BBIE	UN01002560	Name	A name, expressed as text, of this referenced location.	0..n
ASBIE	UN01004465	Specified Trade Payment Terms	Payment terms specified for this supply chain trade settlement.	0..1
ABIE	UN01001672	Trade Payment Terms	Terms and conditions by which payment has been or will be made for trade purposes.	
BBIE	UN01004631	Description	A textual description of these trade payment terms.	0..n
BBIE	UN01004636	Instructed Amount	A monetary value that has been instructed to be transferred between debtor and creditor for these trade payment terms before deduction of charges.	0..n
ASBIE	TF_DC23034	Settlement Delimited Period	The delimited period for this trade payment terms.	0..1
ABIE	UN01002800	Delimited Perion	A period of time from a start date time onwards up to an end date time.	
BBIE	UN01002803	Duration Measure	The measure of the length of time for this delimited period such as hours, days, weeks, months or years.	0..1

➤ 物流データ項目：Supply Chain Consignment（その1）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
Supply Chain Consignment				
*This spread sheet shows a sample data model of Supply Chain Consignment.				
*The full set of the data model can be refered in MMTRDM.				
ABIE	UN01004159	Supply Chain Consignment	A separately identifiable collection of goods items to be transported or available to be transported from one consignor to one consignee in a supply chain via one or more modes of transport where each consignment is the subject of one single transport contract.	
BBIE	UN01004182	Total Charge Amount	The total monetary value of all freight and other service charges for this supply chain consignment.	0..1
BBIE	UN01004197	Package Quantity	The number of packages within this supply chain consignment.	0..1
BBIE	UN01012579	Transshipment Permission Indicator	The indication of whether or not transshipment is permitted for this supply chain consignment.	0..1
ASBIE	UN01004238	Loading Bae Port Logistics Location	The baseport location at which this supply chain consignment is to be loaded on a means of transport according to the transport contract.	0..1
ASBIE	UN01004239	Unloading Bae Port Logistics Location	The baseport location at which this supply chain consignment is to be unloaded from a means of transport according to the transport contract.	0..1
ABIE	UN01003679	Logistics Location	A logistics related physical location or place.	
BBIE	UN01003680	ID	A unique identifier for this logistics related location.	0..n
BBIE	UN01003681	Name	A name, expressed as text, of this logistics related location.	0..n
ASBIE	UN01004252	Transport Transport Event	An event occurring during the transport of this supply chain consignment.	0..n
ABIE	UN01004791	Transport Event	A significant occurrence or happening during transport.	
ASBIE	UN01004803	Occurrence Logistics Location	The logistics location where this transport event occurs.	0..1
ABIE	UN01003679	Logistics Location	A logistics related physical location or place.	
BBIE	UN01003680	ID	A unique identifier for this logistics related location.	0..n
BBIE	UN01003681	Name	A name, expressed as text, of this logistics related location.	0..n
ASBIE	UN01004804	Occurrence Specified Period	A specified period of time during which this transport event occurs.	0..n
ABIE	UN01001270	Specified Period	A specified period of time.	
BBIE	UN01001271	Duration Measure	A measure of the length of time for this specified time period.	0..n
ASBIE	UN01006189	Applicable Cross-Border Regulatory Procedure	A cross-border regulatory procedure applicable to this supply chain consignment.	0..n

➤ 物流データ項目：Supply Chain Consignment（その2）

Type	UID	Short Name	Definition	Cardinality
ABIE	UN01006147	Cross-Border Regulatory Procedure	A set of formal steps to satisfy a cross-border regulation, law or convention.	
BBIE	UN01006148	Type Code	A code specifying a type of cross-border regulatory procedure.	0..n
BBIE	UN01006165	Remark	A remark, expressed as text, for this cross-border regulatory procedure.	0..n
ASBIE	UN01004258	Included Supply Chain Consignment Item	A consignment item included in this supply chain consignment.	0..n
ABIE	UN01004104	Supply Chain Consignment Item	An item within a supply chain consignment of goods separately identified for transport and customs purposes.	
BBIE	UN01004104	ID	An identifier for this supply chain consignment item.	0..n
BBIE	UN01004121	Gross Weight Measure	A measure of the gross weight (mass) of this supply chain consignment item which includes packaging but excludes any transport equipment.	0..n
BBIE	UN01004124	Gross Volume Measure	A measure of the gross weight (mass) of this supply chain consignment item which includes packaging but excludes any transport equipment.	0..n
BBIE	UN01011069	Trade Line Item Quantity	The number of trade line items in this supply chain consignment item.	0..1
ASBIE	UN01004153	Included Supply Chain Trade Line Item	A trade line item included in this supply chain consignment item.	0..n
ABIE	UN01004417	Supply Chain Trade Line Item	A collection of information specific to an item being used or reported on for supply chain trade purposes.	
ASBIE	UN01004428	Specified Supply Chain Trade Agreement	The trade agreement specified for this supply chain trade line item.	0..1
ABIE	UN01004333	Supply Chain Trade Agreement	The contractual terms of a supply chain trade agreement.	
ASBIE	UN01004366	Net Price Product Trade Price	A net product price in this supply chain trade agreement.	0..n
ABIE	UN01001676	Trade Price	A sum of money for which something is or may be bought or sold for trade purposes.	
BBIE	UN01004645	Unit Amount	A monetary value of the unit of this trade price.	0..n
ASBIE	UN01004430	Specified Supply Chain Trade Settlement	A trade settlement specified for this supply chain trade line item.	0..n
ABIE	UN01004433	Supply Chain Trade Settlement	The information that enables the financial reconciliation of a supply chain transaction with the item(s) that the financial transaction is intended to settle.	
BBIE	UN01004437	Payment Amount	The monetary value of the payment for this supply chain trade settlement.	0..1
ASBIE	UN01004431	Specified Trade Product	A product specified for this supply chain trade line item.	0..n
ABIE	UN01004679	Trade Product	Any tangible output or service produced by human or mechanical effort or by a natural process for trade purposes.	
BBIE	UN01004689	Description	A textual description for this trade product.	0..n

V. 今後の標準化活動計画

2023年度は、貿易プラットフォームによる国際間データ連携のデジタル化を進めるため、金流・商流・物流の情報接点となる信用状等貿易決済（トレードファイナンス）に関わる情報モデル（TFFRDM: Trade Finance Facilitation Reference Data Model）、及び我が国の商社及び貿易プラットフォームの業務と整合するデータ要件等を国連CEFACTの貿易金融データ交換プロジェクトに提案し、国際貿易手続きに関わる情報交換の世界標準構築に向けた活動を行った。

おもな活動成果は次の通りである。

- 国際間データ連携のデジタル化に必要な業務要件の提言
- 国連CEFACT貿易金融データ交換プロジェクトの推進体制構築
- 貿易金融参照データモデルの提案
- 信用状貿易取引の業務要件仕様の提案
- 我が国貿易関連企業の情報要件の国際標準化提案

国連CEFACTの貿易金融データ交換プロジェクトは、2023年5月から始まり、2024年12月完了を目指して標準仕様の整備が進められている。現時点（2024年2月）は貿易金融に関わる標準仕様整備の道半ばにある。また、標準仕様が整備されても、それが現場で使われて初めて貿易デジタル化の推進に役立つこととなる。よって、国際標準の仕様整備とともに、それらの実証を含む国際レベルの普及啓発にも力を注ぐ必要がある。

<貿易金融デジタル化国際標準仕様の整備の提案>

2023年5月に始まった国連CEFACT貿易金融データ交換プロジェクトを通じて、2023年度の成果を踏まえて我が国からの要望を盛り込んだ、国際貿易デジタル化に必要な国際標準仕様の整備を行う。

1. 2023年仕掛かり中の標準仕様の完成と公開

(1) 信用状発行プロセス

2023年度に策定した信用状（信用状発行プロセス）業務要件仕様の公開レビューを行い、国連CEFACT標準として発行する。

(2) 信用状発行情報モデル

信用状発行プロセスで使われる標準データ項目を提案し、国連CEFACT共通辞書(CCL)に反映し発行する。

(3) 貿易関係商流情報モデル

我が国の商社／貿易プラットフォームからの要望を取り込んだ、売買契約及びインボイスで使われる追加のデータ項目を提案し、国連CEFACT共通辞書(CCL)に反映し発行する。

<貿易金融デジタル化国際標準の普及啓発の提言>

標準仕様が整備されても、それが現場で使われて初めて貿易デジタル化の推進に役立つこととなる。よって、国際標準の仕様整備とともに、それらの実証を含む国際レベルの普及啓発にも力を注ぐ必要がある。

1. 国連 CEFACT 貿易金融デジタル化標準の普及

2023年 - 2024年に進められている国連 CEFACT 貿易金融データ交換プロジェクトでは、貿易金融に関わる多岐にわたるプロセスと文書が対象とされたが、貿易実務に関わる全ての文書が検討されたわけではない。既にデジタル化のために標準化されている貿易関連文書も数多い。

それら標準化されたデジタル文書とその取扱いにつき、国内の貿易関連企業（商社、金融、物流、保険等）に周知し、デジタル文書を IT システムで取り扱うプラットフォームやパッケージベンダーおよびシステム構築を担う SIer の IT エンジニアの方々の技術力の向上も必要である。

そのため、普及啓発と技術向上のために以下の活動が必須と考えられる。

- ・ 貿易デジタル化のためのガイドブックの整備
- ・ 国連 CEFACT 等貿易デジタル化推進機関の動向の周知
- ・ 貿易デジタル化普及セミナー（ユーザー向け）の開催
- ・ 貿易デジタル化技術研修（IT 技術者向け）

なお、普及啓発と技術向上は目標を定め、その浸透具合をモニタリングする必要がある。浸透度をセミナーや研修会参加者（社）数で捉えることは最低限必要であるが、認定または登録などで技術者を確保することも一法であろう。

2. 海外ユーザーを含む貿易金融デジタル化の実証

貿易は一国で行うものではない。貿易デジタル化においては、取引相手国と法制度や標準につき調整を必要とする。もちろん、取引企業ごとにそれらの調整を行うのは非効率であり、共通の貿易プラットフォーム経由またはプラットフォーム間相互接続によって進めることが望ましい。また、相手国との法制度に関わる調整は政府による事前合意を必要とするものもあろう。

輸出入両社が、貿易手続きを新たな貿易デジタルの仕組みで実施することは容易なことではなく、それを解決してくれるのが貿易プラットフォームであろう。

そのため、貿易プラットフォーム経由の貿易デジタル化推進のため、以下の活動が有効と考えられる。

- ・ デジタル貿易相手国の選定と包括的合意
- ・ 貿易相手国の貿易関連企業への普及啓発
- ・ 貿易プラットフォーム間の合意
- ・ 国際間デジタル貿易の実証

3. 普及促進の目標及び進捗の数値化

費用を投入して実施する事業において、目標及び進捗度を数値化する計測メカニズムは必須である。

貿易デジタル化の目標及び進捗度計測につき、例えば次のような項目の数値化につき、国内及び世界が納得する仕組みを構築する必要がある。

- ・ 貿易デジタル化目標値と計測方法
- ・ 貿易デジタル標準化採用目標と計測方法
- ・ 貿易デジタル化認知度目標値と計測方法
- ・ 貿易デジタル化スキルレベルと量の目標値と計測法

<国際貿易デジタル化に関わる将来の課題>

1. 貿易プラットフォームの技術的課題

- 文書間で共有するデータ：貿易手続きデータにおいては、同じデータが異なる複数の文書で共有される。そのため、貿易プラットフォームでは異なる文書でデータを共有できる仕組みが必要である。しかしながら、貿易においてはデータごとではなく文書単位に契約が履行されるため、プラットフォームからは文書単位に検索ができてそれが取引の証跡になる必要がある。
- 文書を参照する文書：貿易文書の多くのは参照文書を必要とする。例えば、信用状取引におけるインボイス、船荷証券、保険証書などである。よって、プラットフォームを利用するユーザーはそれら参照文書をプラットフォームから容易に検索できなければならない。
- プラットフォーム間相互接続：世界の貿易をたった一つのプラットフォームに乗せることは望まれず、プラットフォームは分散化する。すなわち、輸出入者が異なるプラットフォームに接続しても、上記の「文書間で共有するデータ」「文書を参照する文書」の課題を解決しなければならない。

2. 国内における貿易デジタル化推進

- 国内では、産業界におけるデータ連携基盤としてウラノスが紹介され、業界を跨るインフラとしてその推進が始まっている。輸出入においても、国内サプライチェーンとストレスのない連携を実現するためには、国連 CEFACT 標準に基づくデジタル貿易との連携ができる仕組みを検討する必要がある。
- 国連 CEFACT 標準に基づく貿易デジタル化は、まず大手商社と銀行のニーズ分析から始めた。中小企業が荷主となる場合や、中小物流業者が関係する分野についての考慮及び普及促進も重要課題として取り上げる必要がある。

3. 社会的課題と貿易

持続的社會を実現するために、次のような重要なテーマが議論されている。

- ・ カーボンフットプリント（あるいは GHG 対策）
- ・ 希少資源の管理

- ・ サプライチェーンの強靱性
- ・ サプライチェーン上の人権問題

これらの課題解決に向け、特に欧州を中心に新しい規則が制定されつつあり、貿易においても課題を見える化するための新たなデータや文書が要求されてこよう。

今までも、原産地証明を始めとして、含有化学物質管理、絶滅危惧種生物取引、廃棄物輸出入など、いろいろな課題が出され、その度に個別対応してきている。

これら新旧の課題で必要となってくるのは、新たなデータ項目や文書の定義はもとより、国を超えて情報を追跡する仕組み、すなわちトレーサビリティである。

今後、貿易プラットフォーム及びその相互連携を含め、国を超えたトレーサビリティの汎用的な仕組みづくりが重要となりそうである。

<国際貿易デジタル化推進スケジュール（案）>

	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
調査研究	国連CEFACT/ICCの動向調査				
	貿易デジタル化普及計測手法				
	社会的課題解決のための貿易デジタル化				
技術・標準	国連CEFACT貿易金融プロジェクト				
	プラットフォーム間相互運用				
	データパイプラインの整備				
		ウラノスアーキテクチャとの整合化			
		グローバルトレーサビリティ			
普及啓発	貿易デジタル化ガイドブック				
	認知度向上セミナー				
	技術力向上セミナー（技術者登録）				
	貿易デジタル推進協議会発足				
	貿易デジタル化企業登録				
	貿易デジタル化ツール登録				
	中小貿易事業者（商社、物流）への補助事業				
国際協調	デジタル貿易相手国の選定と包括的合意				
	貿易プラットフォーム間の合意				
	貿易相手国の貿易関連企業への普及啓発				
	国際間デジタル貿易の実証				

<参考：国連 CEFACT とその標準>

国連 CEFACT とその標準

2024年2月

本参考文書は、国連 CEFACT の組織・活動・標準につき、主に「国際標準の実装を通じた貿易分野のデータ連携を促進する取組：国際標準規格への取組」に関連する事項につき概説したものである。

【はじめに】

国連 CEFACT は貿易関係の主要な国際機関（WCO/ICC/IMO 等）と連携し、個別の業界組織ごとではなく、商流・物流・金流の全体の相互情報連携を可能にする貿易デジタル化に取り組んでいる。

<主要な国際機関>

WCO: World Customs Organization（世界税関機構）

ICC: International Chamber of Commerce（国際商業会議所）

IMO: International Maritime Organization（国際海事機関）

<主な国際業界組織>

商流（流通）：GS1（主として流通業のコード及び EDI の標準化推進）

（製造）：ODETTE（欧州自動車協会）

物流：DCSA（Digital Container Shipping Association）、

FIATA（International Federation of Freight Forwarders）

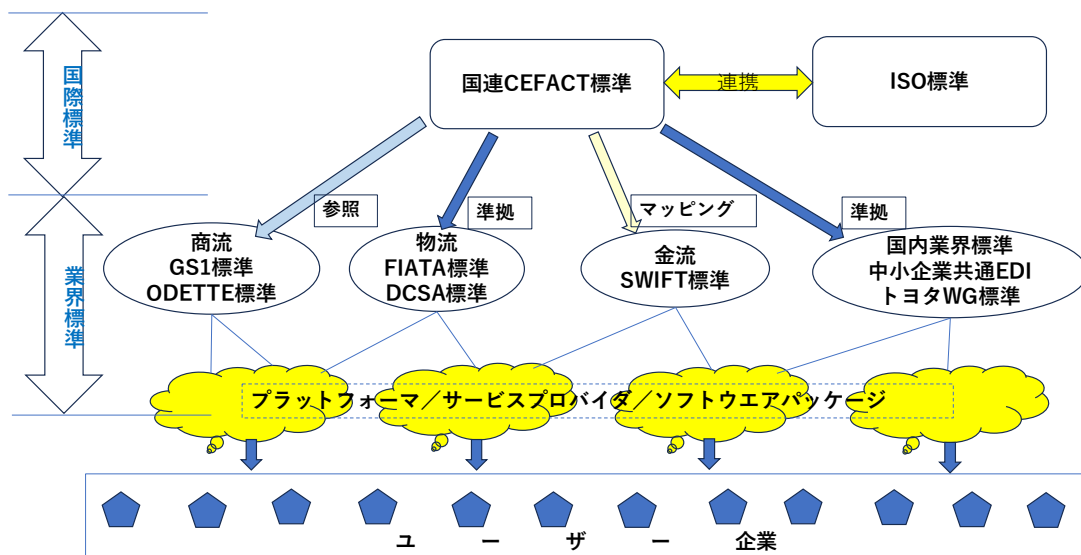
金流：SWIFT（国際銀行間通信協会）

最近の国連 CEFACT フォーラム（2023年10月、バンコク）には国連加盟国（193か国）の内61か国、及び上記を含む多くの国際業界組織より専門家が派遣された。

貿易に関わる EDI の国際標準においても、他の分野と同様に業界単位に標準 EDI が推進されてきた。ただし、それぞれの業界標準は業界間の情報連携ニーズが高まる中、中核となる国連 CEFACT 標準との連携を考慮するようになってきた。例えば、商流（製造業）の ODETTE 標準は国連 CEFACT 標準準拠であり、商流（流通）の GS1 標準は国連 CEFACT 標準をベースに業界独自の拡張を行っている。物流の FIATA 標準・DCSA 標準は国連 CEFACT 技術標準による業界ニーズ先取りした標準を開発し、それを国連 CEFACT 標準（CCL 及びメッセージ）に追加してゆく活動を行っている。また、金流の SWIFT 標準では、現在進行中の貿易金融プロジェクトを通じて標準情報項目のマッピングを進めようとしている。更に国内においては、中小企業向けの共通 EDI や自動車部品メー

カー間 EDI（トヨタ WG）で国連 CEFACT 標準のサブセットとなる標準が使われている。

特に、貿易関連分野では業界間（商流・物流・金流）の情報連携なくしてはデジタル化の推進は困難であり、国連 CEFACT 標準をセマンティック・ハブとして標準化領域が広がって行くものと思われる。



しかしながら、ユーザー企業の視点から見ると、貿易関連プロセスは提供されるクラウドサービスやソフトウェアパッケージの機能であり、それらサービスやパッケージのベースとなる業界標準が関心ごとであり、おおむねの国連 CEFACT 標準は見えてこない。

すなわち、我が国の国内貿易関連企業は、直接関係のある業界ごとの国際標準には関心があるが、業界間情報連携を目指す国連 CEFACT の認知度は高くない。ところが、現在、貿易手続でペーパーレス化ができていないところは、業界間に跨る分野、特に貿易金融分野である。貿易金融における業界間情報連携の試みは、国連 CEFACT の場で進められている。貿易分野の新たな国連 CEFACT 標準は、関連業界団体の標準に反映され、やがてはサービスやパッケージの機能としてユーザー企業に届けられることになる。

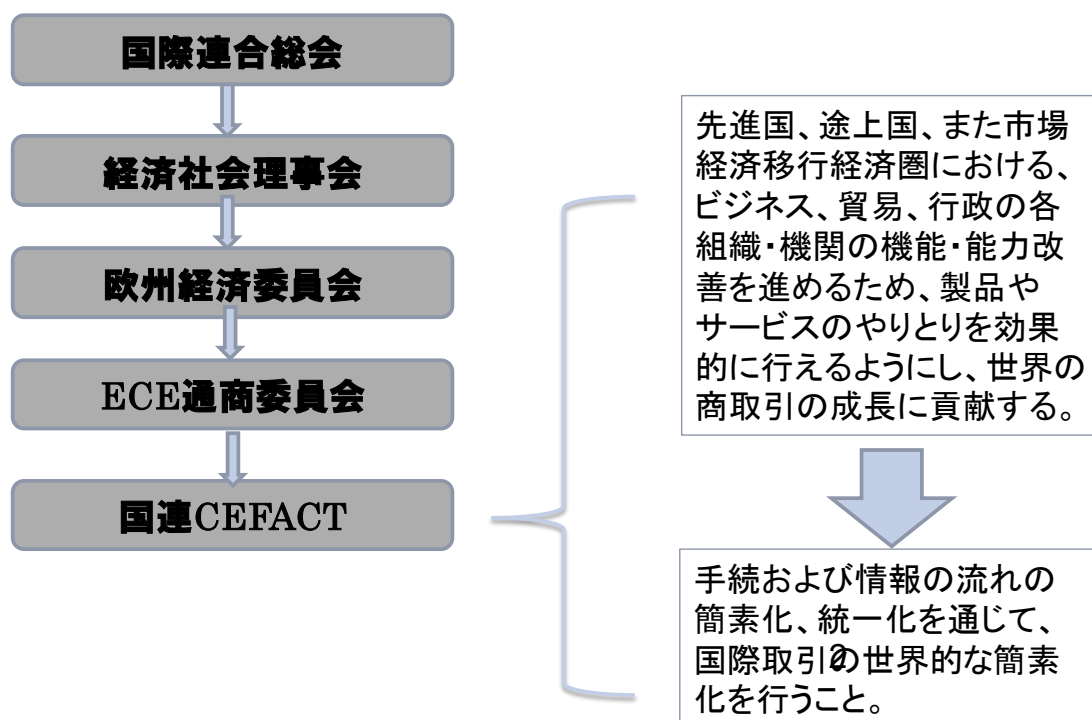
国連 CEFACT で進められている貿易金融デジタル化が進めば、信用状の発行・通知、信用状と船荷証券による決済手続き、貨物保険証の申請・発行、事故時の保険金請求など、現状人手によるペーパープロセスを激減することになる。

更に、国連 CEFACT 標準情報定義に基づく貿易データパイプラインの実現により、異なる業界とのデータ共有が容易となり、貿易手続の自動化が進むことが期待される。

1. 国連 CEFACT とは

1. 1 国連 CEFACT の組織

国連 CEFACT（貿易円滑化と電子ビジネスのための国連センター：United Nation Centre for Trade Facilitation and Electronic Business）は、国連経済社会理事会（ECOSOC）の枠組みの中で、国連欧州経済委員会（UNECE）の下に設置され、貿易円滑化のための勧告と電子ビジネス標準の中心的役割を果たしている。国連 CEFACT は、先進国／開発途上国／移行経済圏のビジネス／貿易／行政の各組織・機関が、製品や関連サービスを効率的にやり取りする能力を向上させる活動を支援する。その主な焦点は、プロセス／手続き／情報の流れの「簡素化」と「調和」を通じて、国内および国際的な取引を促進し、世界の商取引の成長に貢献することである。



そのため次のような取り組みを行っている。

- 国際的なプロセス、手続き及び取引の主要な要素を分析・理解し、制約の排除に取り組む。
- 関連する情報技術の利用を含むプロセス、手続き及び取引の円滑化のための手法を開発する。
- 政府、業界、民間の協会などのチャンネルを通じて、これらの手法の使用と関連するベストプラクティスの両方を促進する。
- 世界貿易機関（WTO）、世界税関機構（WCO）、経済協力開発機構（OECD）、国

連国際商取引法委員会（UNCITRAL）、国連貿易開発会議（UNCTAD）などの他の国際機関との間で、特に「輸送と貿易のためのグローバルな円滑化パートナーシップに関する覚書」に関連し、作業を調整する。

- 国際機関、政府間機関及び非政府機関を含む他の利害関係者と協力することにより、標準及び勧告の開発における一貫性を確保する。特に、国連 CEFACT 標準については、ISO/IEC/ITU/UNECE 了解覚書（MoU）に則り、国際標準化機構（ISO）、国際電気標準会議（IEC）、国際電気通信連合（ITU）および選択した非政府組織（NGO）と協力することによって、この一貫性を促進することができる。これらの関係は、国連 CEFACT の活動がグローバルな商取引以外の分野でも広く適用されていること、およびアプリケーション間の相互運用性と多言語環境をサポートする重要な目的を認識し、確立し、維持している。

世界貿易の発展に不可欠なプロセス、情報、技術の 3 つの柱を網羅するために、国連 CEFACT は以下の主要な成果物を提供している。

- ・貿易円滑化勧告
- ・電子ビジネス標準
- ・技術仕様

また、国連 CEFACT は、官民の情報交換の相互運用性を確保するため、政府と民間企業の緊密な協力を奨励している。

1. 2 日本の国連 CEFACT 活動

国連 CEFACT の日本の代表窓口は経済産業省・財務省・国土交通省の 3 省が交代に受け持っており、民間からの国連 CEFACT 活動への参加については国連 CEFACT 日本委員会（JEC: Japan Trade Facilitation and E-Business Committee）において調整されている。国連 CEFACT 日本委員会の事務局は一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会（JASTPRO）である。

国連 CEFACT 日本委員会の活動は、標準促進委員会・観光部会・技術手法委員会の 3 つの作業部会を通じて行われる。

- 標準促進委員会（JUS：Japan Committee for UN/CEFACT Standards）

JEC の下に設置している JUS は、国連 CEFACT の成果物の日本国内への広報・普及を担うとともに、国連 CEFACT 活動への参画方針等を検討する。国連 CEFACT 勧告の評価、及び国連 CEFACT への提言、我が国発の提案を国連 CEFACT プロジェクトとして申請する場合の審査や手続、国連 CEFACT コードのメンテナンス要求の事前評価・申請などを行う。UN/LOCODE（物流拠点等で使用される世界の場所コード）については Japan National Focal Point（日本窓口）として国連 CEFACT への新規 LOCODE 申請を評価している。

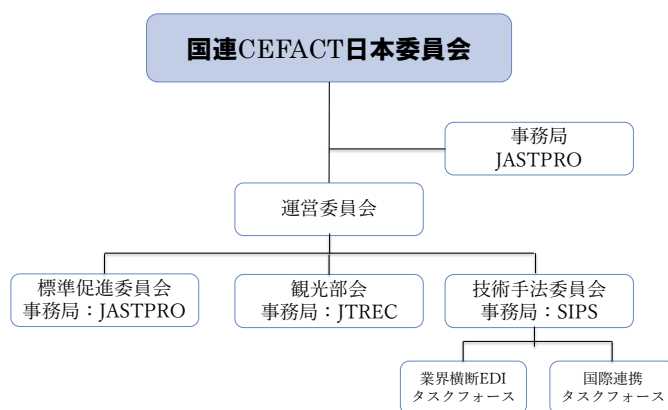
- 観光部会

UNECE が EDIFACT を開発し普及に力を入れたことで、貿易分野のみならず旅行観光分野においても、コンピューター利用による商取引の国際標準化活動を推進する動きが始まった。1992 年に運輸省（当時）の呼びかけにより、旅行観光分野の主要な協会・企業により設立された「国連 EDIFACT 旅行メッセージ勉強会」を母体として現在の「国連 CEFACT 観光部会」に至り、JEC の下に組織されている。「NPO 法人観光情報流通機構（JTREC）」が事務局を担い、独立した組織として国連 CEFACT や AFACT の活動にも直接貢献している。

▶ 技術手法委員会

JEC の技術面を担う組織。事務局のサプライチェーン情報基盤研究会（SIPS）は、国内におけるビジネスインフラ構築を進めてきた「次世代 EDI 推進協議会」（国内の EDI 促進のため経産省のバックアップで約 60 の業界団体で立ち上げた協議会で一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が事務局）の成果（業界横断 EDI 仕様 V1.1）を継承し、グローバルな情報連携との相互運用性を保ちながら、その成果を金流・商流の情報連携を含め、サプライチェーンに関する業務・業種に幅広く拡充してゆく役割も担い、2015 年に JEC の下に設置された。実務面では、国連 CEFACT 活動への直接の貢献や国内業界団体と直接のコンタクトがある。国際連携、業界横断 EDI の 2 つのタスクフォースを運営し、標準化の基本である CCL（コアコンポーネントライブラリ：国連 CEFACT 共通辞書）の実質的管理を担い、情報項目定義資料やビジネスニーズ根拠につき技術評価を行っている。

2023 年度は「国際標準の実装を通じた貿易分野のデータ連携を促進する取組」事業で、「国際標準規格への取組」を担当している。

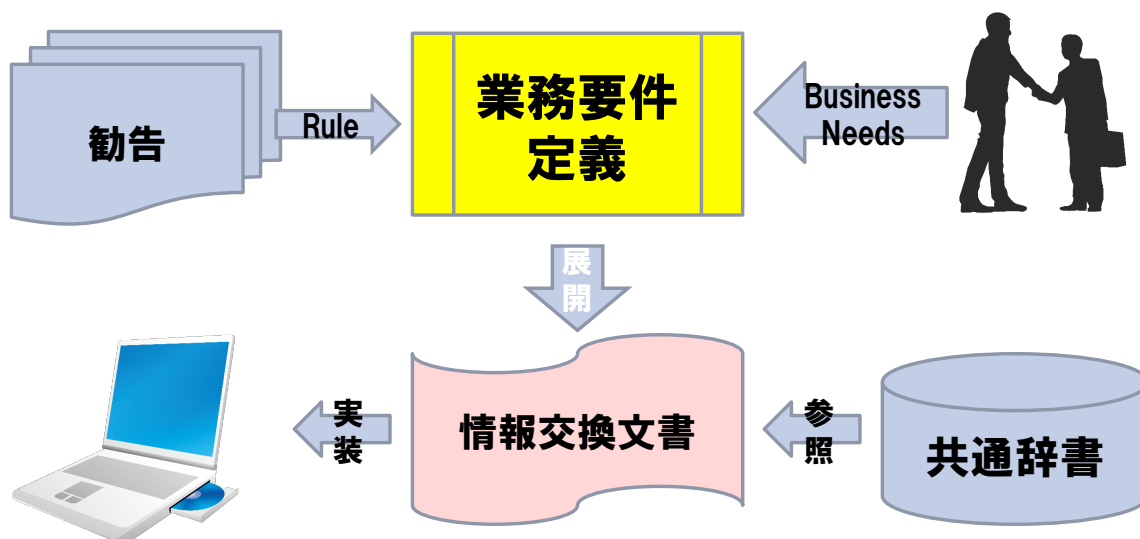


2. 国連 CEFACT の標準

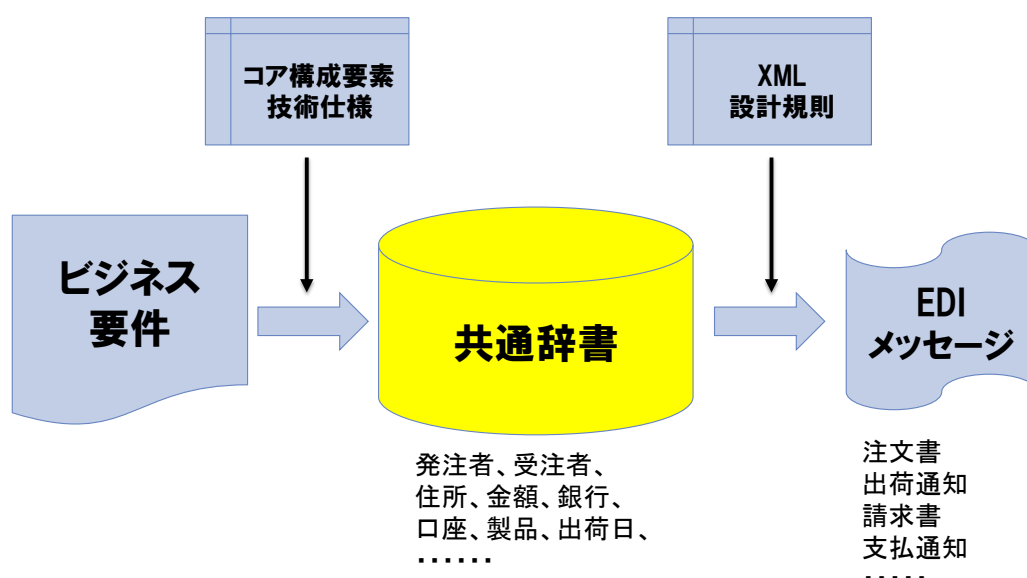
2. 1 国連 CEFACT 標準の枠組み

国際標準 EDI に関わる国連 CEFACT 標準は、「勧告」「業務要件仕様」「共通辞書」「情報交換文書」からなる。最初に世界各国から寄せられる実際のビジネスニーズをトリガーに、各種「勧告」に基づき「業務要件仕様」を策定する。「業務要件仕様」に則って、標

準の情報項目定義や標準コード表が登録されている「共通辞書」を参照して「情報交換文書」を設計し、XMLなどの標準メッセージを実装する。



標準メッセージを策定するために、各種の国連 CEFACT 技術仕様が定められている。まず、ビジネス要件で洗い出された必要な情報項目は、「コア構成要素技術仕様」にしたがって定義され、共通辞書に登録する。ビジネス要件で定義されたメッセージは、共通辞書にある情報項目を参照して設計され、XML などの実装メッセージとして定義されるが、そのときに参照されるのが「XML 設計規則」である。



2. 2 標準開発プロセス

全ての勧告、業務要件仕様、共通辞書、技術仕様など、国連 CEFACT 標準の開発は、

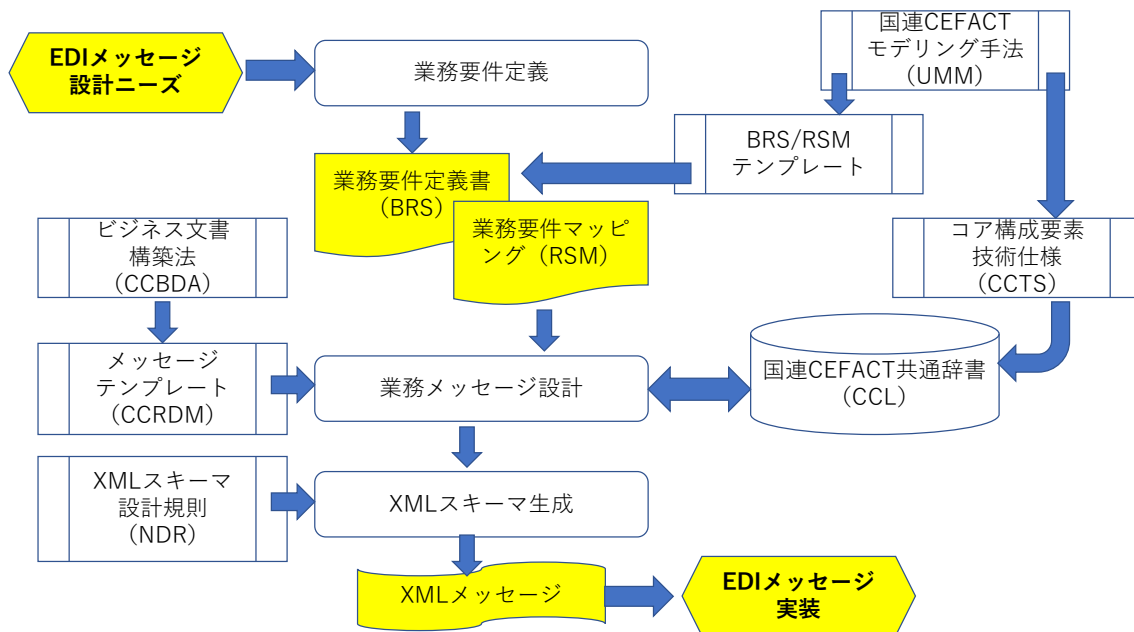
「標準開発プロセス」(Open Development Process)に定められた、オープンで公正な手順に従って行わなければならない。

「標準開発プロセス」は次の7つの手順からなる。

- (1) プロジェクトの開始 (Project Inception)
プロジェクト提案書を提出し、3カ国以上の賛同があった場合に開始できる。
- (2) 業務要件収集 (Requirements Gathering)
対象業務範囲、業務プロセス、情報項目などを収集し分析する。
- (3) 標準案開発 (Draft Development)
標準ドラフト文書を策定する。
- (4) 公開レビュー (Public Review)
通常、60日間の公開レビューを行う。
- (5) プロジェクトの終了 (Project Exit)
プロジェクト提案で定義した全ての成果物が確認されると完了となる。
- (6) 標準の発行 (Publication)
国連 CEFACT の WEB ページから公開される。
- (7) 保守 (Maintenance)
追加修正要求があった場合、軽微な変更は当該プロジェクトの延長として修正することができる。大幅な修正の場合は、あらたなプロジェクトを立ち上げる。

3. 国連 CEFACT 技術仕様

標準 EDI メッセージ (XML メッセージの場合) の策定手順は次の通りであり、「国連 CEFACT モデリング手法 (UMM)」「コア構成要素技術仕様 (CCTS)」「ビジネス文書構築法 (CCBDA)」「メッセージテンプレート (CCRDM)」「XML スキーマ設計規則 (NDR)」が関連する技術標準である。



- 国連 CEFACT モデリング手法 (UMM)
統一モデリング言語 (UML) に基づく、業務要件仕様 (BRS) の策定ガイド。
- コア構成要素技術仕様 (CCTS)
共通辞書に登録する情報項目の定義手法。次の業務情報項目につき定義されている。
 - ・ 基本業務情報項目 (BBIE)：特定の集約業務情報項目 (ABIE) の中で固有のビジネス属性を定義する。基本業務情報項目 (BBIE) は、データ型で規定される特定の値を持つ。
 - ・ 集約業務情報項目 (ABIE)：基本業務情報項目 (BBIE) および関連業務情報項目 (ASBIE) で構成され、関連するビジネス属性を集約して固有のオブジェクトクラスを形成する。
 - ・ 関連業務情報項目 (ASBIE)：特定の集約業務情報項目 (ABIE) の中で、その属性として規定したい別の集約業務情報項目 (ABIE) を関連づける。
- ビジネス文書構築法 (CCBDA)
メッセージが業務情報項目によりどのように組み立てられているかを定義する規則。
- メッセージテンプレート (CCRDM)
参照データモデルとして、特定の業務領域におけるマスターメッセージ構造を定義。
- XML スキーマ設計規則 (NDR)
CCBDA に従って定義されたメッセージ構造を XML スキーマで表現するときの規則。

以上は、XML メッセージ設計に関わる技術標準であるが、加えて EDIFACT や JSON でメッセージを設計するための技術標準書も用意されている。

4. 国連 CEFACT の勧告

勧告には、貿易円滑化勧告 (https://unece.org/trade/uncedfact/uf_recommendations) とコード表勧告 (<https://unece.org/trade/uncedfact/cl-recommendations>) がある。

➤ 主な貿易円滑化勧告

- ・ UN Layout Key：標準貿易文書の様式定義
- ・ NTFB (National Trade Facilitation Body)：国の貿易円滑化機関（日本では JASTPRO）。
- ・ EDI 合意書：EDI を実施するときの当事者間の合意書。
- ・ シングルウィンドウの推奨。
- ・ コロナ禍における貿易関連の対応。

など

➤ 主なコード表勧告

- ・ 国コード
- ・ INCOTERMS
- ・ 為替コード
- ・ 輸送手段コード

など

5. 国連 CEFACT 業務要件仕様とメッセージ

国連 CEFACT の WEB ページより業務要件仕様

(<https://unece.org/trade/uncedfact/brs>) および XML メッセージスキーマ

(<https://unece.org/trade/uncedfact/xml-schemas>) をダウンロードすることができる。

➤ 主な業務要件仕様 (BRS)

- ・ 会計金融報告プロセス
- ・ 畜産物追跡プロセス
- ・ 見積プロセス
- ・ 注文プロセス
- ・ 商品配送プロセス
- ・ インボイスプロセス
- ・ 支払通知プロセス
- ・ パッキングリストプロセス
- ・ 貨物トラッキングプロセス
- ・ 製造ジャストインプロセス
- ・ 電子入札プロセス
- ・ 電子交渉プロセス

- ・ 漁業関連情報交換プロセス
- ・ 穀物育成記録プロセス
- ・ 原産地証明プロセス

など

➤ おもな XML メッセージ

- ・ 需要予測メッセージ
- ・ 見積依頼メッセージ
- ・ 注文メッセージ
- ・ 出荷通知メッセージ
- ・ インボイスメッセージ
- ・ 支払通知メッセージ
- ・ 旅館情報メッセージ
- ・ 入札メッセージ

など

6. 国連 CEFACT 標準への日本の貢献

国連 CEFACT の ebXML 関連技術仕様が整備された 2000 年代前半より、日本からも多くのプロジェクト提案が行われ、標準化に貢献してきた。主なプロジェクトは次の通り。

- ・ 電子入札メッセージの標準化
- ・ 旅行（旅館）メッセージの標準化
- ・ 金融（支払通知）メッセージの拡張
- ・ XML メッセージ設計ガイドライン
- ・ ジャストインタイム製造メッセージの拡張
- ・ 電子交渉プロジェクト